



このコンテンツは公開から3年以上経過しており内容が古い可能性があります  
最新情報については[サービス別資料](#)もしくはサービスのドキュメントをご確認ください

# [AWS Black Belt Online Seminar]

## AWS Transit Gateway

サービスカットシリーズ

Sr.Solutions Architect  
Network Specialist 菊池 之裕  
2019/11/13

AWS 公式 Webinar

<https://amzn.to/JPWebinar>



過去資料

<https://amzn.to/JPArchive>



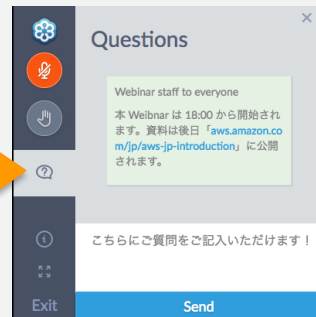
# AWS Black Belt Online Seminar とは

「サービス別」「ソリューション別」「業種別」のそれぞれのテーマに分かれて、アマゾンウェブ サービス ジャパン株式会社が主催するオンラインセミナーシリーズです。

## 質問を投げることができます！

- 書き込んだ質問は、主催者にしか見えません
- 今後のロードマップに関するご質問は  
お答えできませんのでご了承下さい

- ① 吹き出しをクリック
- ② 質問を入力
- ③ Sendをクリック



Twitter ハッシュタグは以下をご利用ください  
#awsblackbelt

# 内容についての注意点

- 本資料では2019年11月13日時点のサービス内容および価格についてご説明しています。最新の情報はAWS公式ウェブサイト(<http://aws.amazon.com>)にてご確認ください。
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格とAWS公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます。
- 価格は税抜表記となっております。日本居住者のお客様が東京リージョンを使用する場合、別途消費税をご請求させていただきます。
- AWS does not offer binding price quotes. AWS pricing is publicly available and is subject to change in accordance with the AWS Customer Agreement available at <http://aws.amazon.com/agreement/>. Any pricing information included in this document is provided only as an estimate of usage charges for AWS services based on certain information that you have provided. Monthly charges will be based on your actual use of AWS services, and may vary from the estimates provided.

# 自己紹介

名前：菊池 之裕(きくち ゆきひろ)

所属：技術統括本部 レディネス&テックソリューション本部  
シニアソリューションアーキテクト ネットワークスペシャリスト

ロール：Network系サービスについてのご支援

経歴：ISP,IXP,VPN運用、開発を経てネットワーク機器、仮想ルータ販売会社のプリセールス、プロダクトSEからAWSへ

好きな AWS サービス:AWS Transit Gateway,  
AWS Direct Connect, AWS Marketplace



# 今回のBlackbeltで説明しないこと

- Transit Gateway用語
  - アタッチメント
  - アソシエート
  - プロパゲート
  - ルーティングテーブル
- VPC/Routingテーブルについての基礎知識

こちらの資料をご参照ください

AWS Summit Tokyo

- Transit Gateway Deep Dive アーキテクチャガイド

資料 <https://pages.awscloud.com/rs/112-TZM-766/images/B1-05.pdf>

動画 [https://youtu.be/Y-t7Fzlr\\_x8](https://youtu.be/Y-t7Fzlr_x8)

Transit Gateway 公式ドキュメント

- Amazon Virtual Private Cloud > [Transit Gateways](#)

[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/vpc/latest/tgw/tgw-vpn-attachments.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/vpc/latest/tgw/tgw-vpn-attachments.html)

# 今回もってかえって頂きたいこと

- Transit Gatewayに関する深い理解
- Transit Gatewayのユースケースを理解する
- Transit Gatewayの注意点を理解する
- 必ずしもTransit Gatewayが必要ではないケースがある

# 本日のアジェンダ

- Transit Gatewayとは
- ユースケース
- 注意する点
- 必ずしもTransit Gatewayを使わなくてもいいケース
- まとめ

# 本日のアジェンダ

- Transit Gatewayとは
- ユースケース
- 注意する点
- 必ずしもTransit Gatewayを使わなくてもいいケース
- まとめ



# Transit Gatewayとは

# AWS Transit Gateway



リージョナルゲート  
ウェイ

VPC間接続を簡単に管理す  
るためのシンプルなリー  
ジョナルゲートウェイ



大規模

数千の  
VPC,VPN,Direct  
Connectを接続可能



ルーティング  
ドメイン

アタッチメントごとの  
ルーティングを可能に  
するルーティングドメ  
インのサポート



パートナー連携

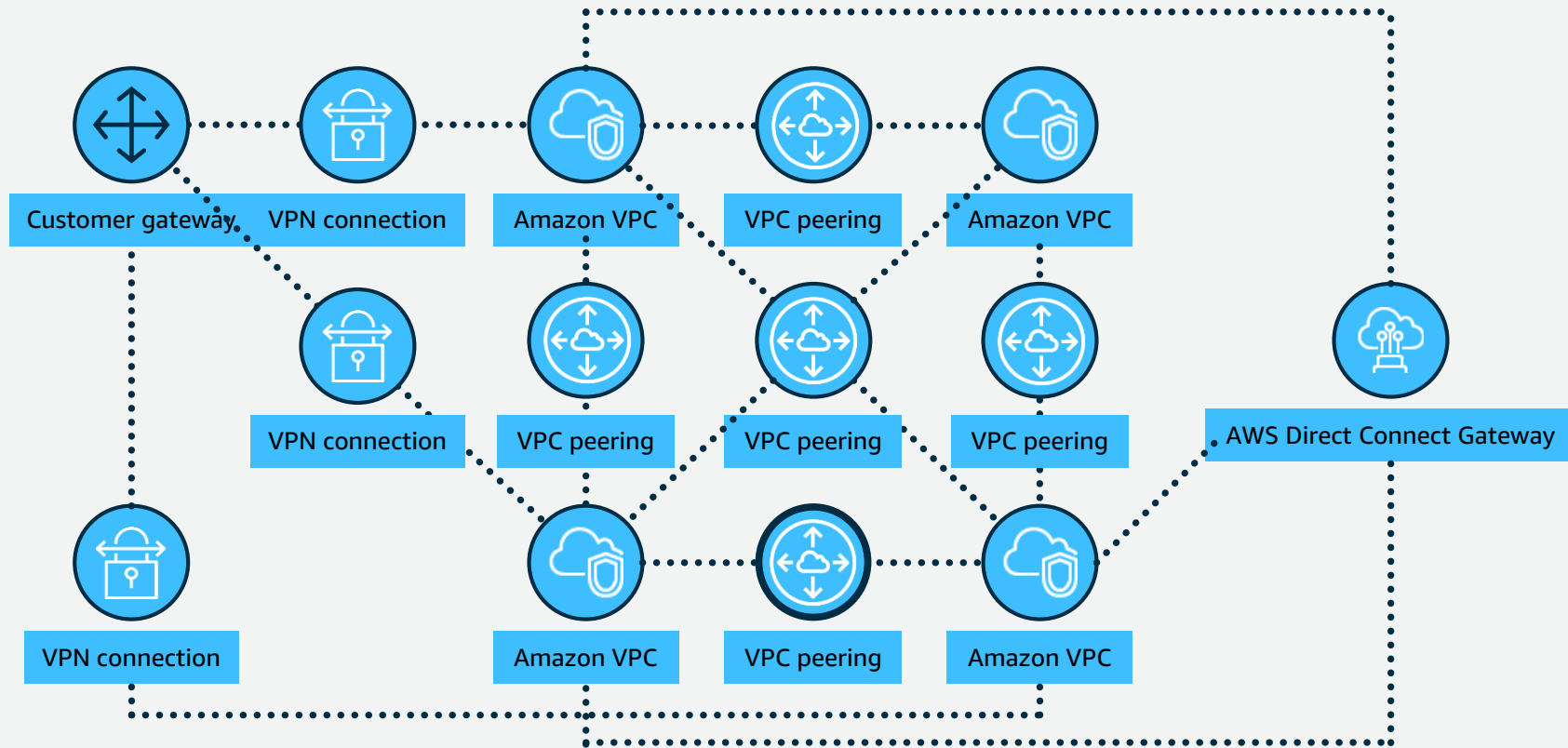
パートナーアプライ  
アンスをミドルボッ  
クスとしてサポート



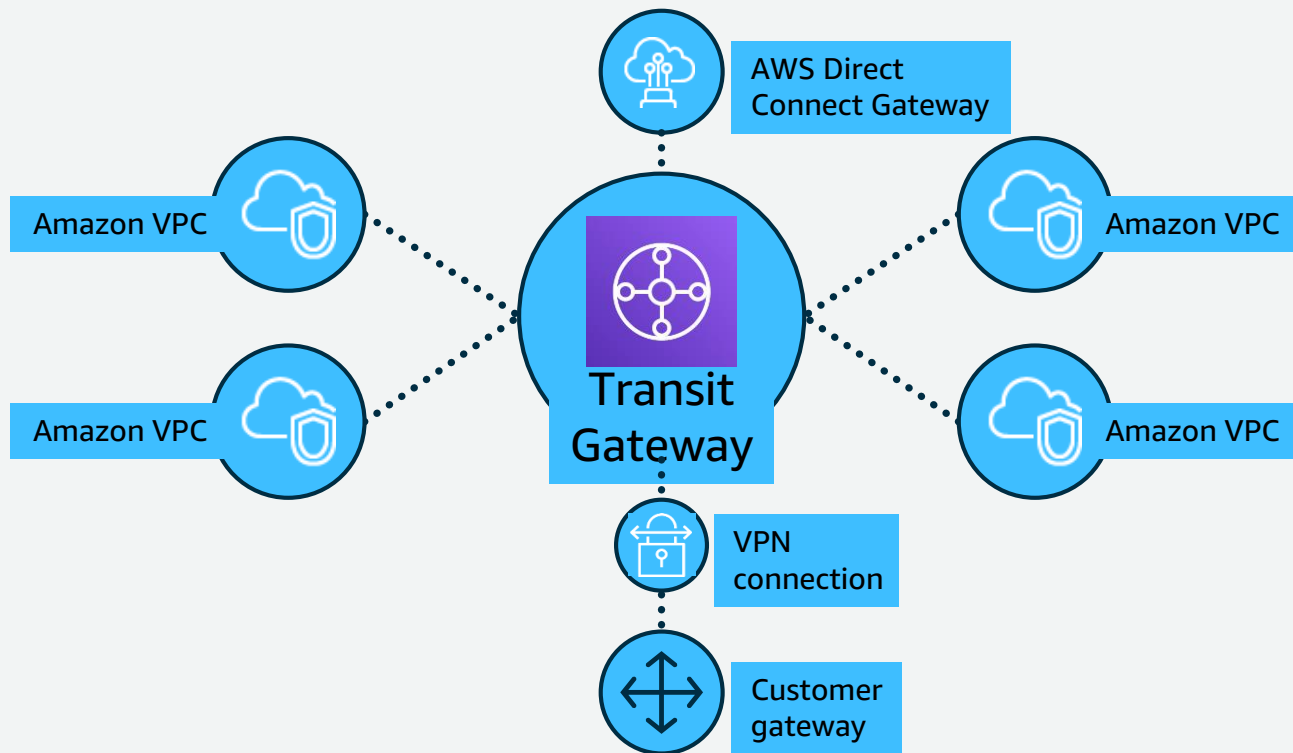
“ AWS Transit Gatewayは徹底的に進化することにより、クラウドネットワーキングを簡素化しました。 Transit Gatewayを使用して、一貫した信頼性の高いネットワークパフォーマンスを実現しながら、新しいVPCとオンプレミスネットワークを相互接続する時間を数週間から数分に短縮しています！”

Khoder Shamy, Director, Cloud Platform and Infrastructure, Fuze

# Transit Gateway以前のネットワーク ...

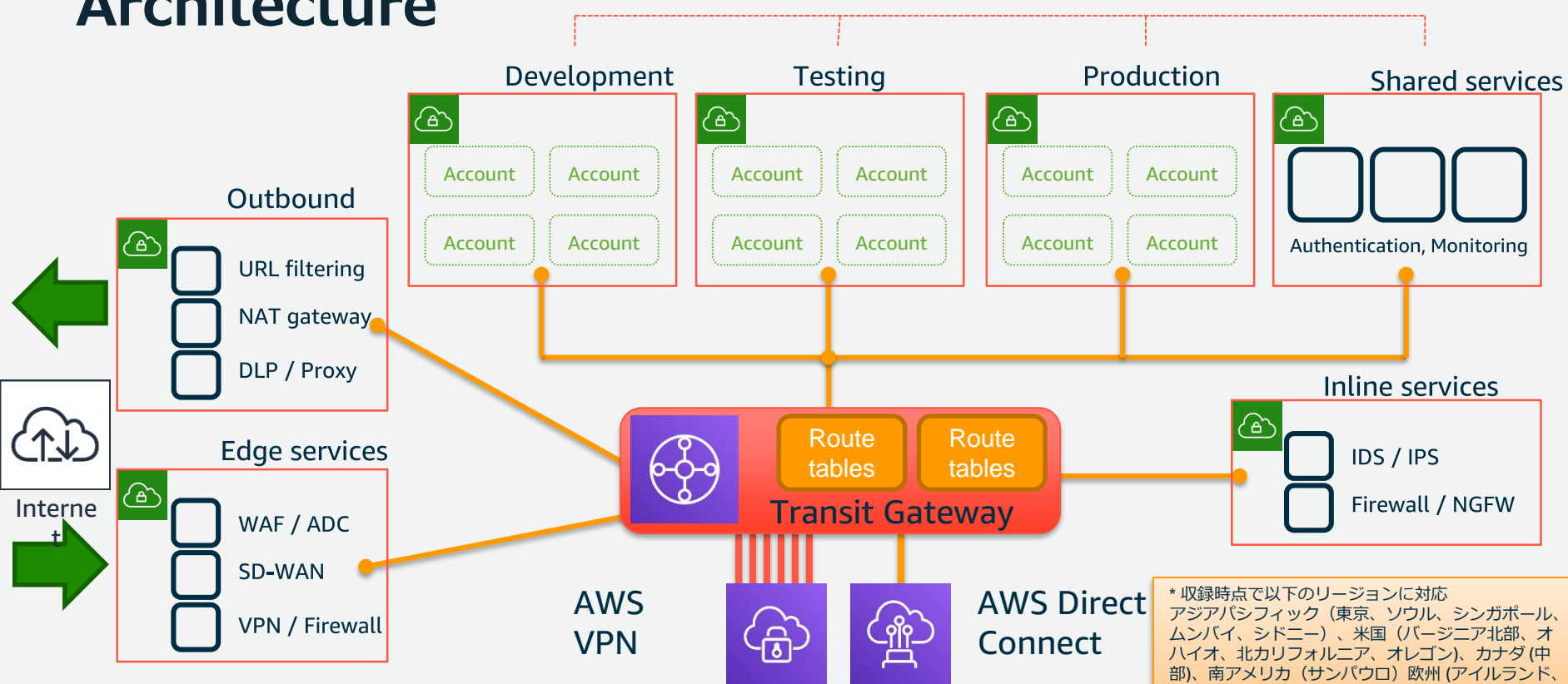


# Transit Gatewayを使用すると ...



# Reference Network Architecture

Administrative accounts (logging, AWS Organizations, billing, landing zone)

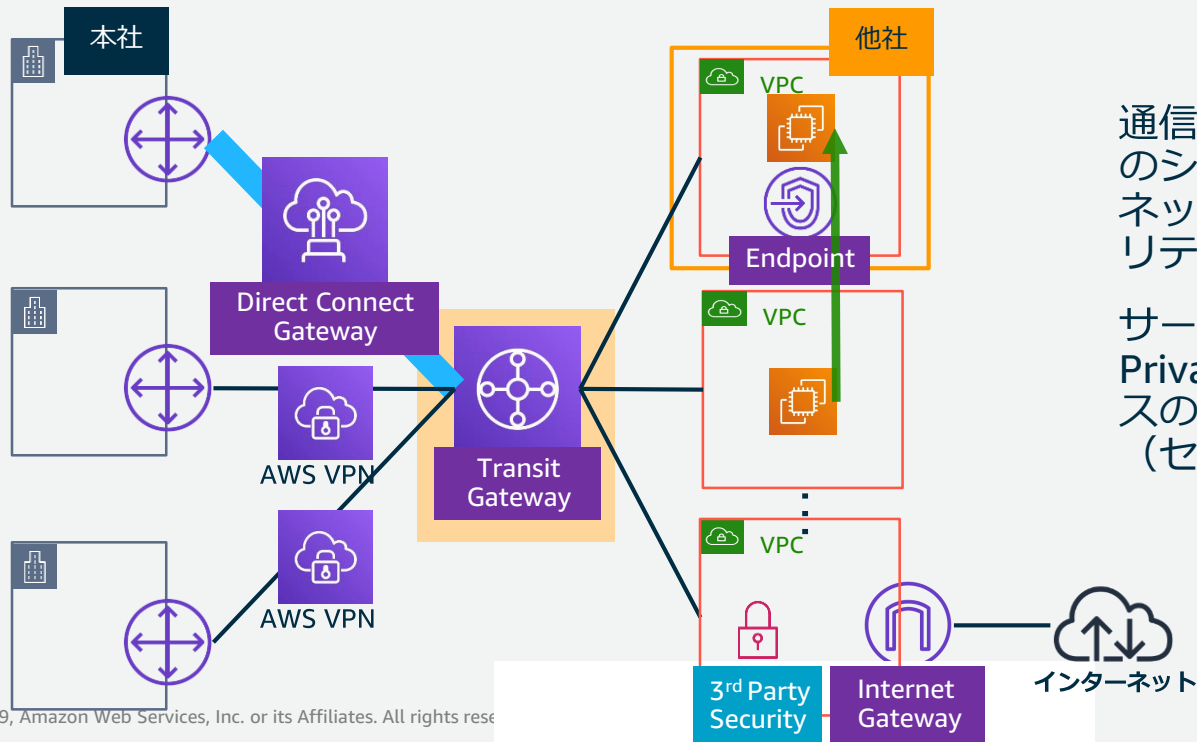


\* 収録時点で以下のリージョンに対応  
 アジアパシフィック (東京、ソウル、シンガポール、ムンバイ、シドニー)、米国 (バージニア北部、オハイオ、北カリフォルニア、オレゴン)、カナダ (中部)、南アメリカ (サンパウロ) 欧州 (アイルランド、ロンドン、フランクフルト、パリ)、AWS GovCloud (米国東部/西部)

# 共通リソースをAWS上に集約

管理・連携するVPCの数が増え、VPC Peeringのメッシュ化によりAWS上の構成が複雑化  
多くのオンプレミス拠点がVPCへ接続

→ Transit Gatewayを中心に配置し、リージョナルルーターとして経路を集中管理



通信要件：オンプレミス、VPC間のシームレスな連携、インターネット接続環境をAWS上のセキュリティアプライアンスに集約

サービス：Transit Gateway、Private Link、マーケットプレイスのパートナーアプライアンス（セキュリティ関連）

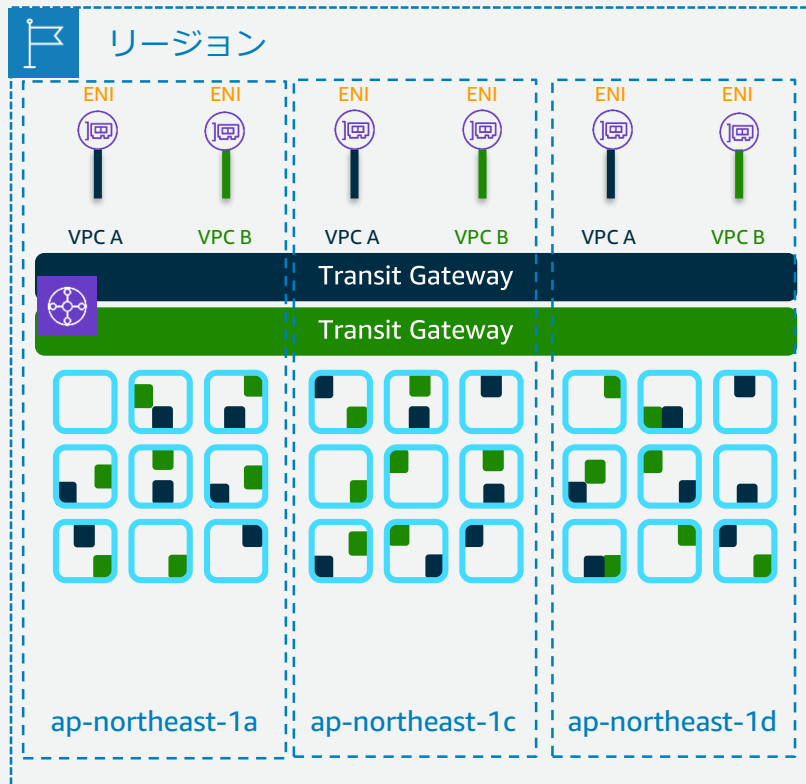
# より深く: Transit GatewayとHyperPlane

## アタッチメント

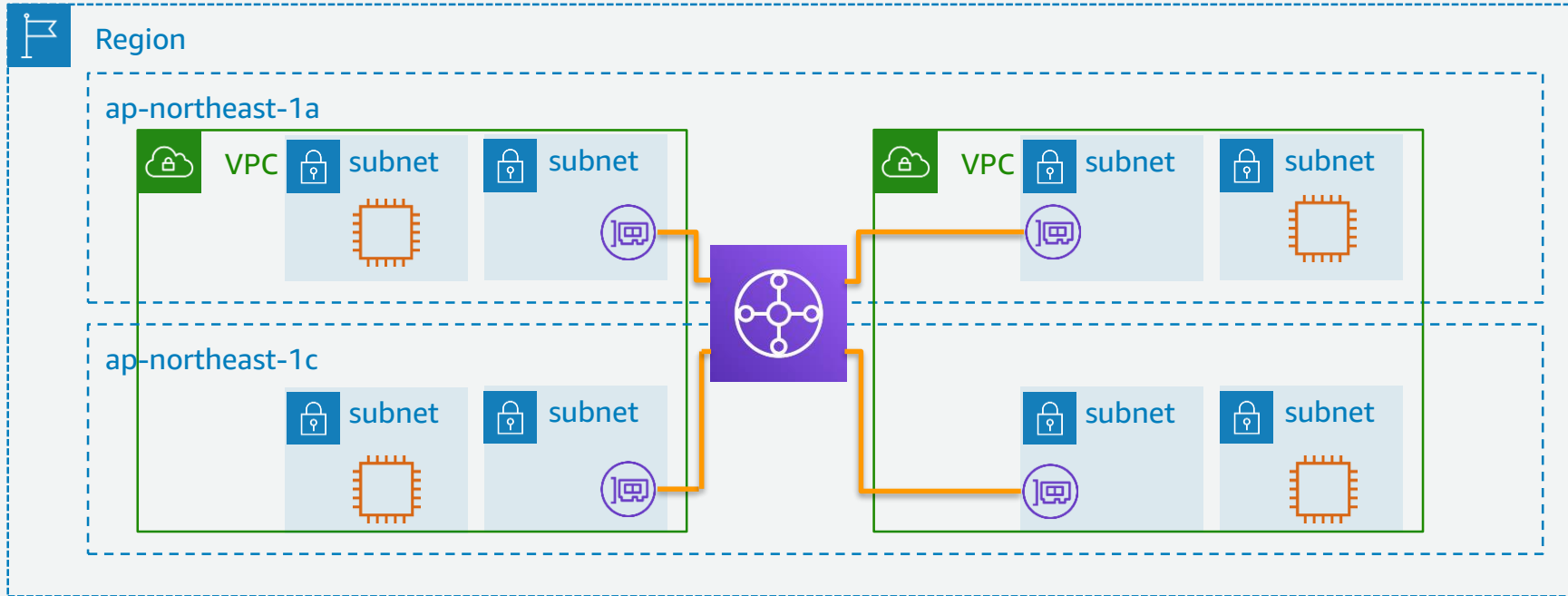
- AZごとに1つのENI(Elastic Network Interface)
  - つまりAZ内の1つのサブネットにのみアタッチ可能
- AZごとの高信頼性
- ネットワーク容量のシャーディングによる確保
- 数十マイクロ秒の低レイテンシー

## AWS HyperPlane

- 水平方向に拡張可能なステートマネジメント
- Tbpsを超えるマルチテナンシーのサポート
- NLB,NAT Gateway,Amazon EFSのサポート、さらにTransit Gatewayをサポート

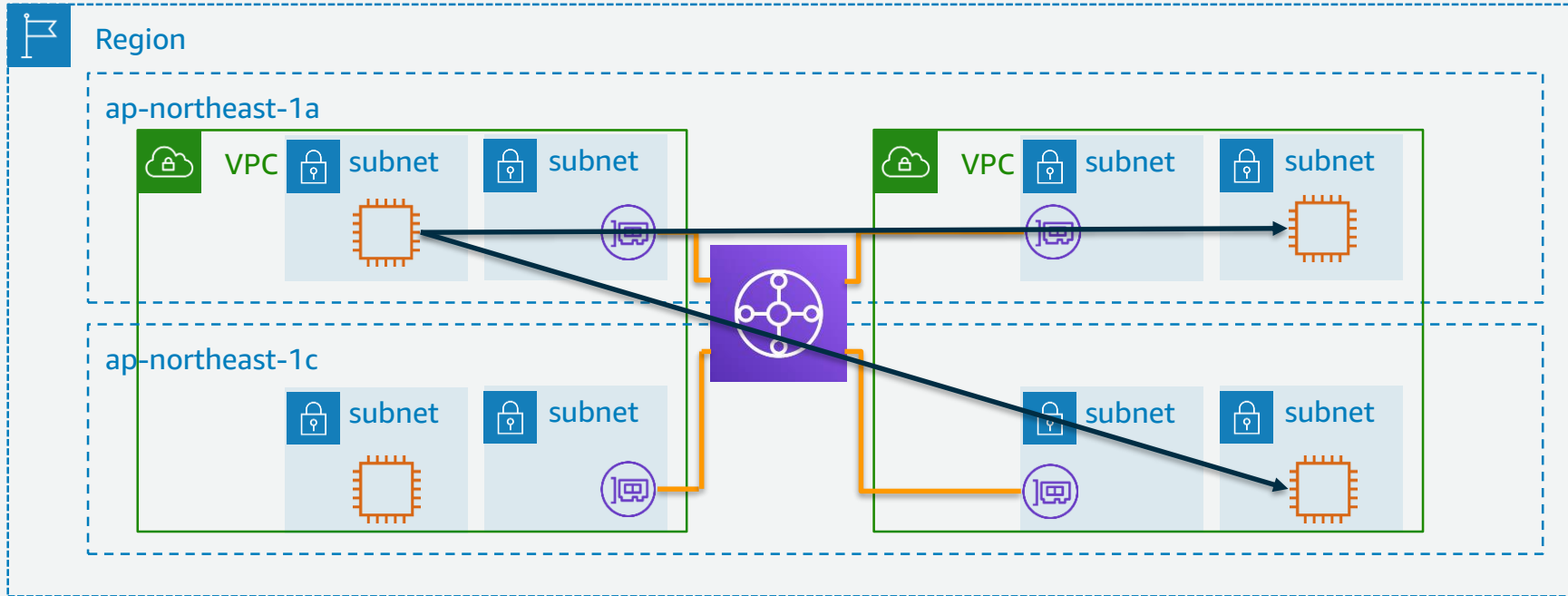


# Transit GatewayのAZ間通信(VPC内オブジェクト)

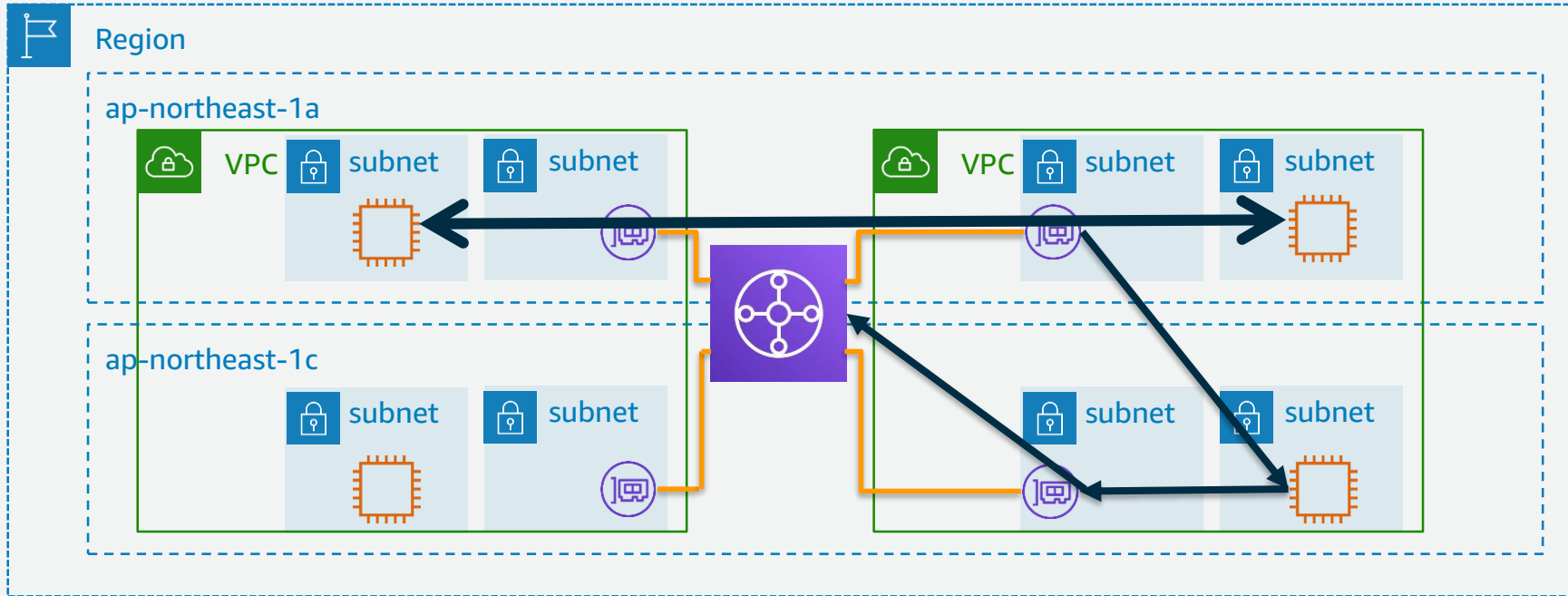




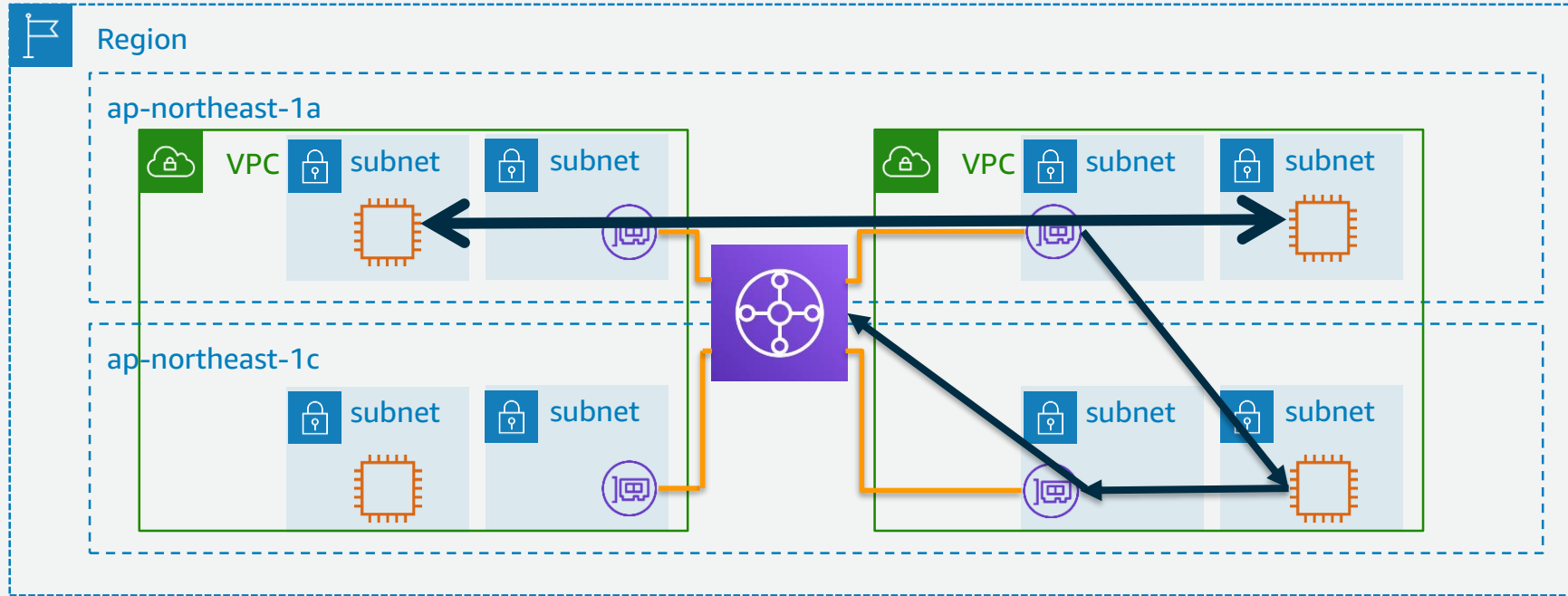
# Transit GatewayのAZ間通信(VPC内オブジェクト)



# Transit GatewayのAZ間通信(VPC内オブジェクト)

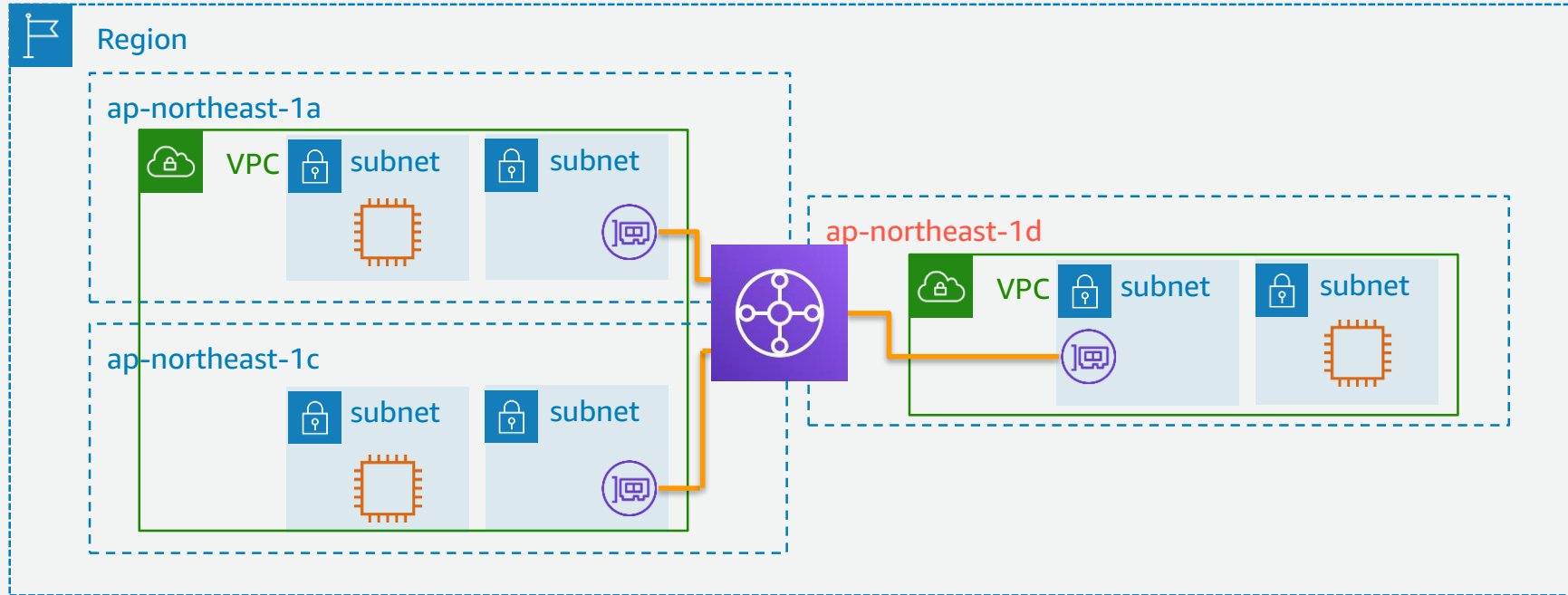


# Transit GatewayのAZ間通信(VPC内オブジェクト)

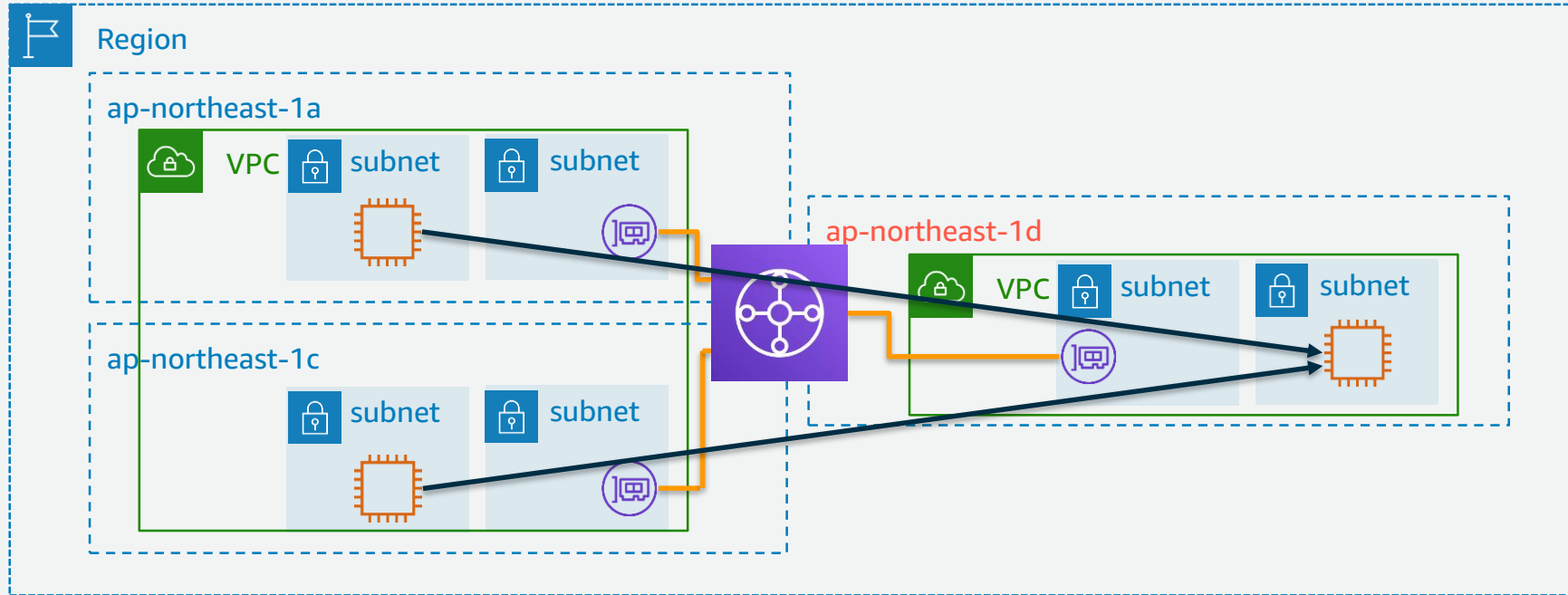


VPC間の通信は同一AZのENIを経由して通信が行われる

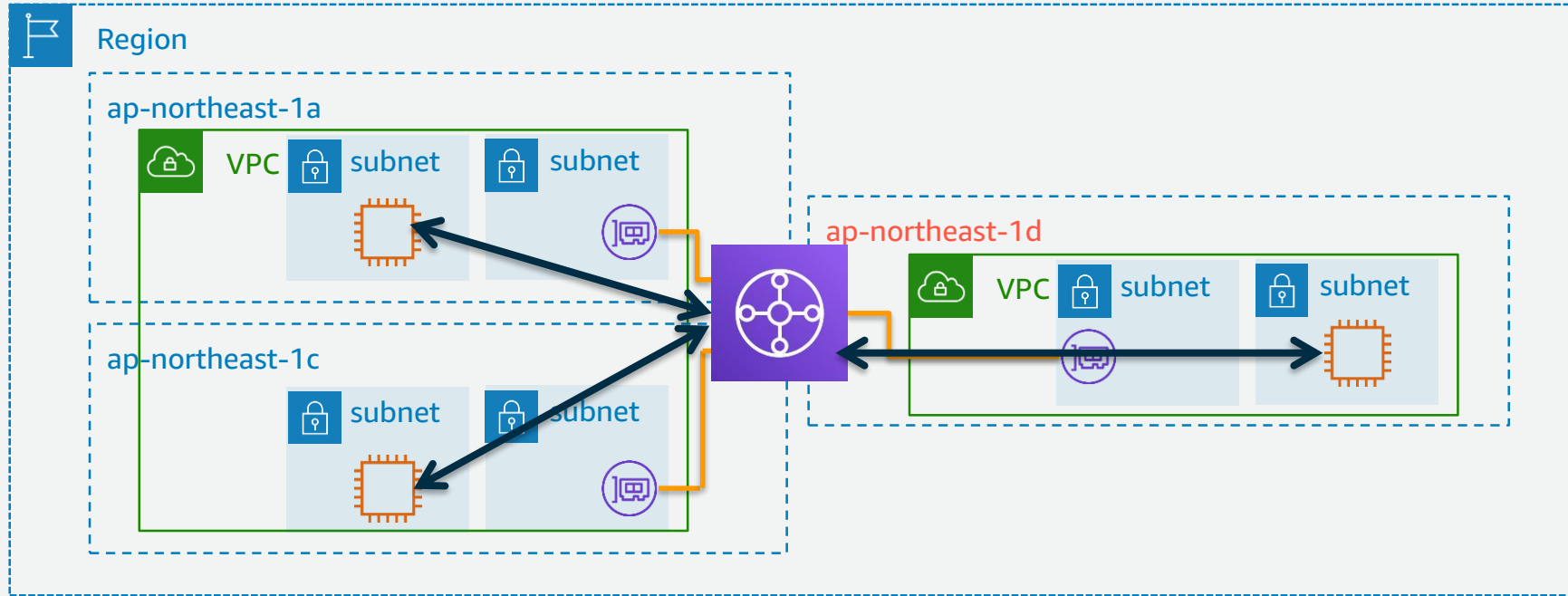
# Transit GatewayのAZ間通信(VPC内オブジェクト)



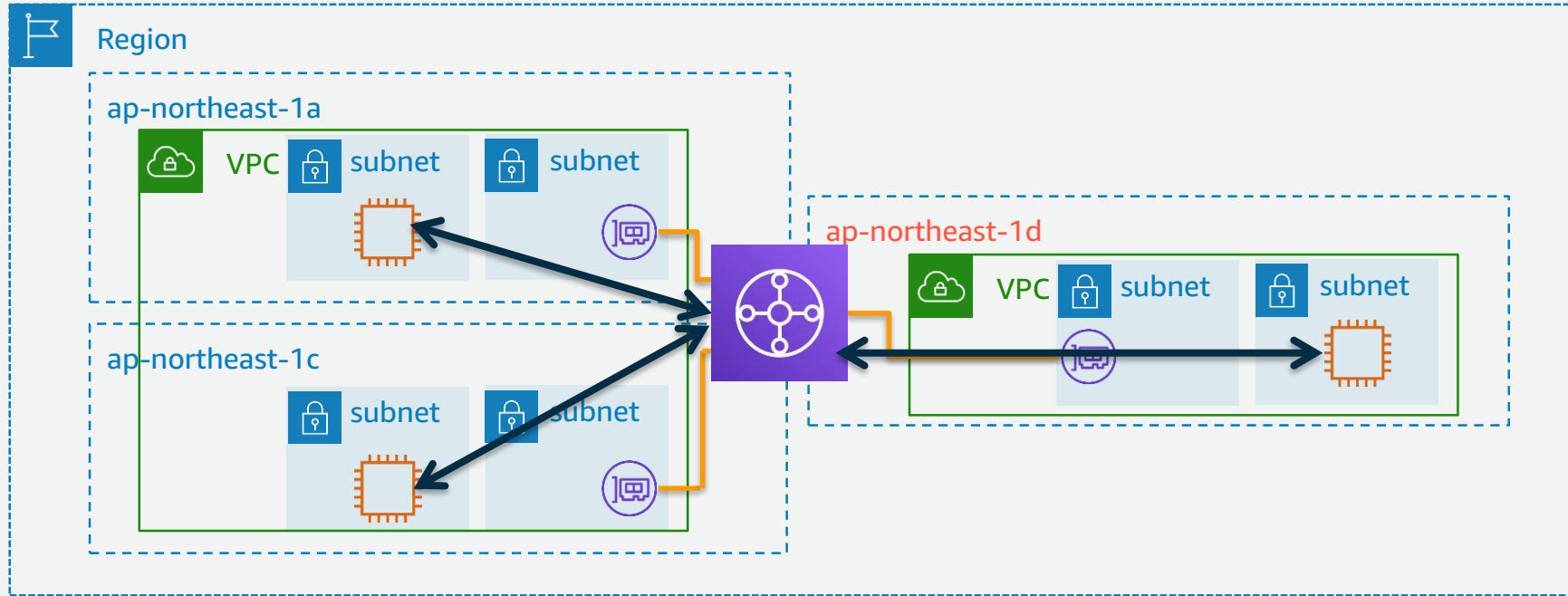
# Transit GatewayのAZ間通信(VPC内オブジェクト)



# Transit GatewayのAZ間通信(VPC内オブジェクト)



# Transit GatewayのAZ間通信(VPC内オブジェクト)



送信先に同一AZが存在しない場合は、存在するAZのENIのいずれかに出力され、通信ができる

# 本日のアジェンダ

- Transit Gatewayとは
- ユースケース
- 注意する点
- 必ずしもTransit Gatewayを使わなくてもいいケース
- まとめ



# ユースケース

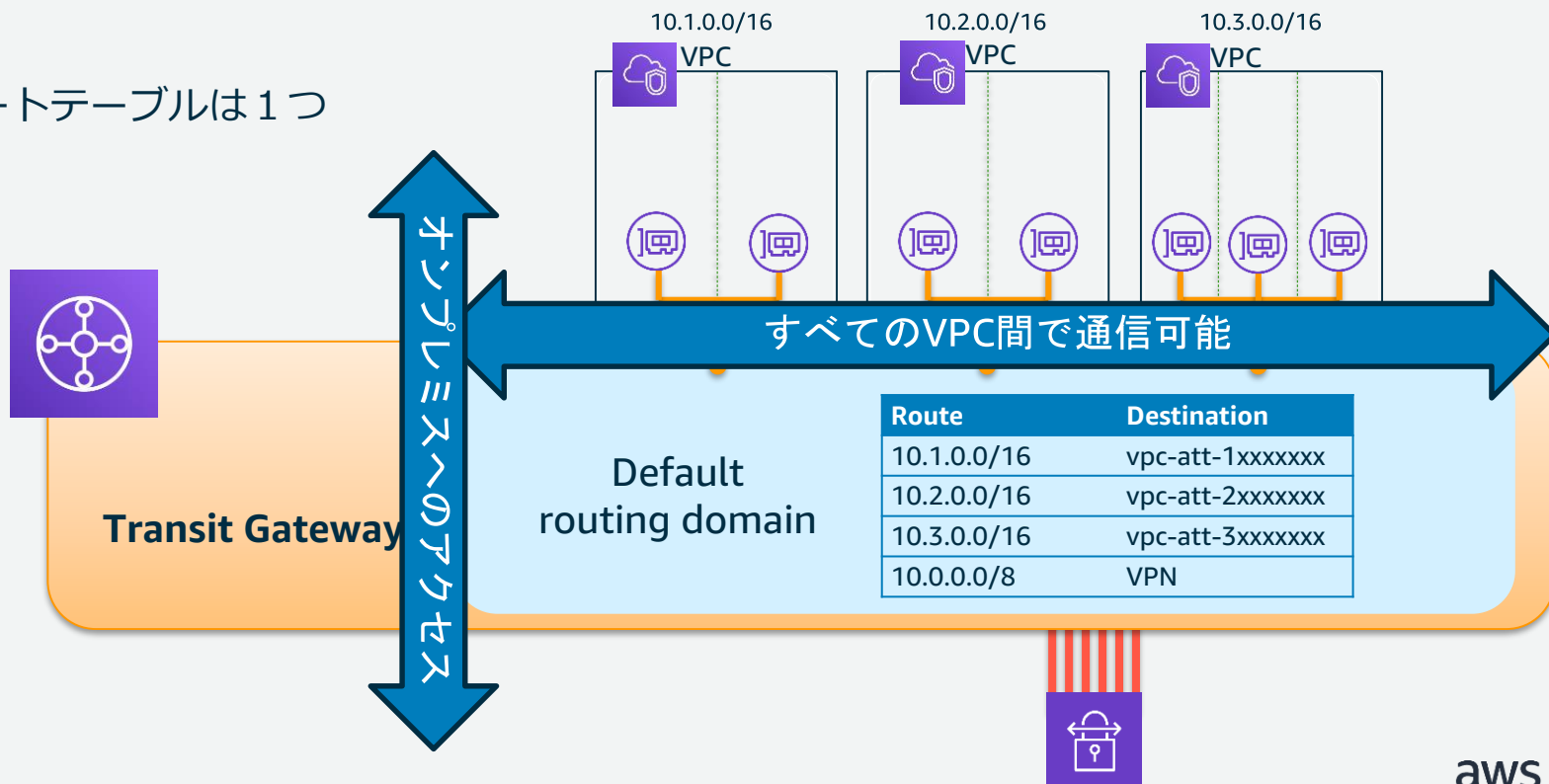
# ユースケース

- 自由に通信できるRoute Domain
- VPC間の通信を制限するRoute Domain
- インターネットに自由に通信できるOutbound Route Domain
- VPC間のトラフィックをインライン監査するRoute Domains
- Transit Gateway + Direct Connect/VPN
- 多拠点を収容するVPN Hub

# 自由に通信できる Route Domain

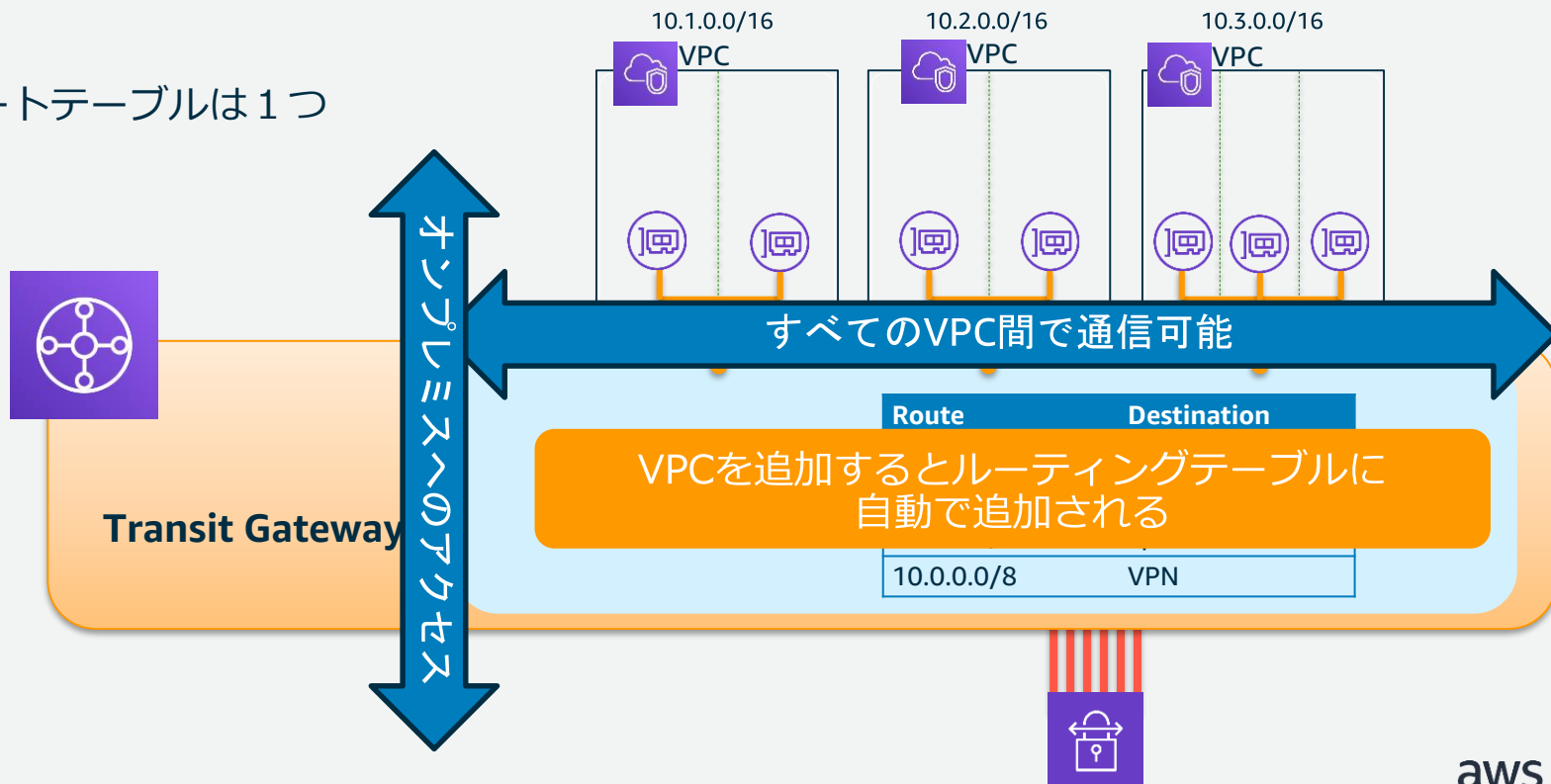
# Transit Gatewayで自由に通信させる Route Domain (デフォルト動作)

ルートテーブルは1つ



# Transit Gatewayで自由に通信させる Route Domain (デフォルト動作)

ルートテーブルは1つ



# 自由に通信させるRoute Domainのポイント

- メリット
  - Transit Gatewayのルーティングテーブルを扱わなくて良い
  - プラグアンドプレイで相互接続可能
- デメリット
  - 相互接続を制限したいときにTGWのみでは難しい

# 自由に通信させるRoute Domainのポイント

- メリット
  - Transit Gatewayのルーティングテーブルを扱わなくて良い
  - プラグアンドプレイで相互接続可能
- デメリット
  - 相互接続を制限したいときにTGWのみでは難しい

VPC内でNACL, Security Groupで制限すれば良い  
ルーティングになれていない人にはおススメ

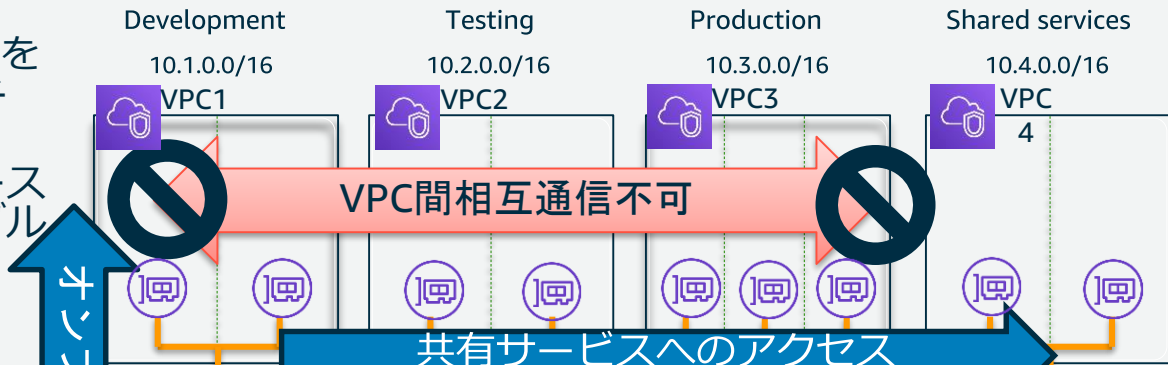
# VPC間の通信を制限するRoute Domain



# Transit Gatewayで通信制限する Route Domain

VPCは共有リソースへのルートを持つルートテーブルにアタッチ

共有リソースはすべてのリソースへのルートを持つルートテーブルにアタッチ



Shared serviceとVPN向けのみの経路

それぞれのVPC向けの経路

Route	Destination
10.0.0.0/8	VPN
10.4.0.0/16	vpc-att-4xxxx

Shared services

Route	Destination	Route	Destination
10.1.0.0/16	vpc-att-1xxxx	10.3.0.0/16	vpc-att-3xxxx
10.2.0.0/16	vpc-att-2xxxx	10.4.0.0/16	vpc-att-4xxxx

VPN



# Transit Gatewayで通信制限する Route Domainのポイント

- メリット

- Transit GatewayですべてのVPC/DX/VPN間の通信を制御
- マルチアカウントでVPC内を制御できないときに最適

- デメリット

- ルーティングテーブルが複数必要になるため、ルーティングの知識がある程度必要。

# Transit Gatewayで通信制限する Route Domainのポイント

- メリット

- Transit GatewayですべてのVPC/DX/VPN間の通信を制御
- マルチアカウントでVPC内を制御できないときに最適

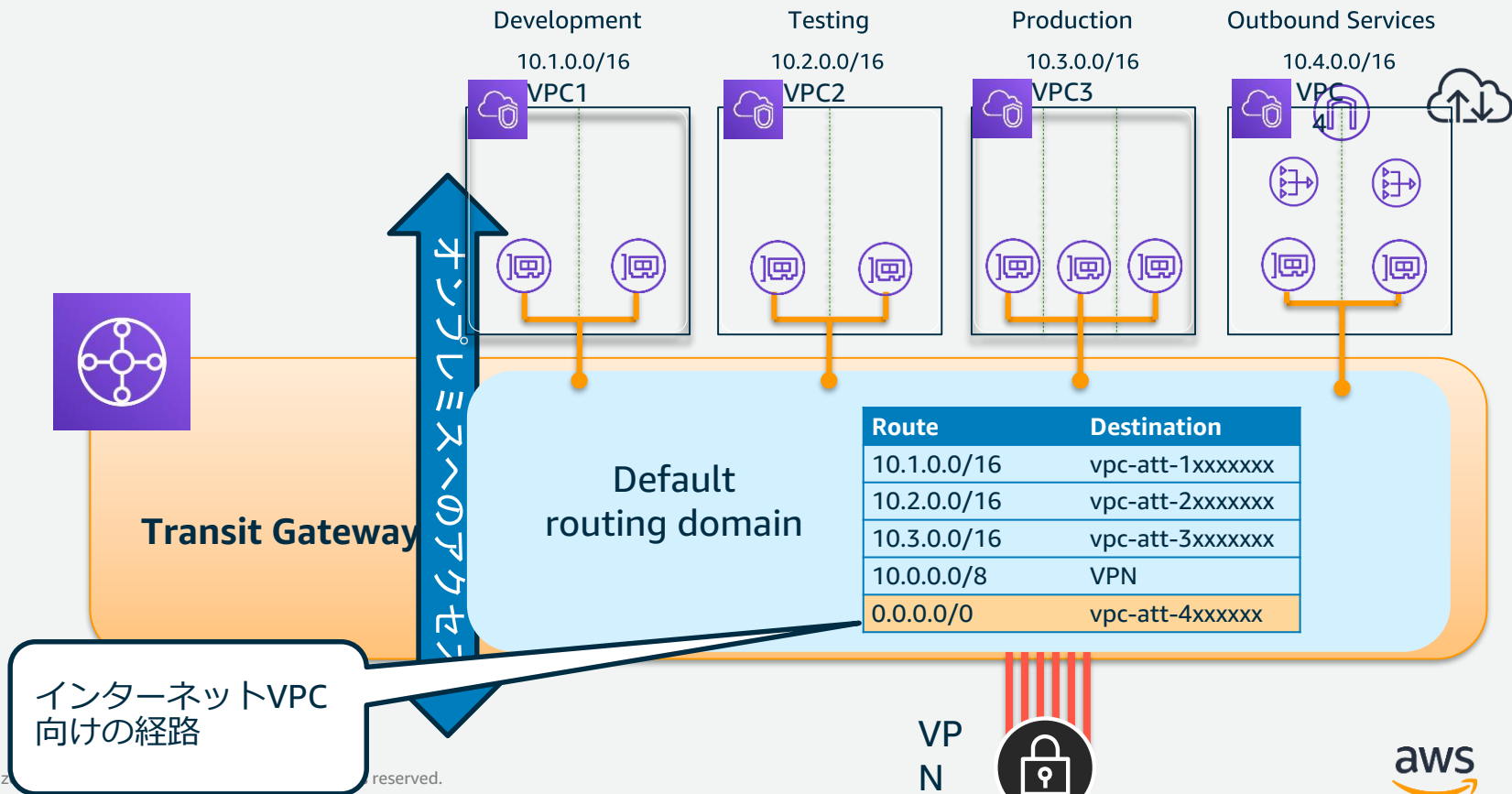
- デメリット

- ルーティングテーブルが複数必要になるため、ルーティングの知識がある程度必要。

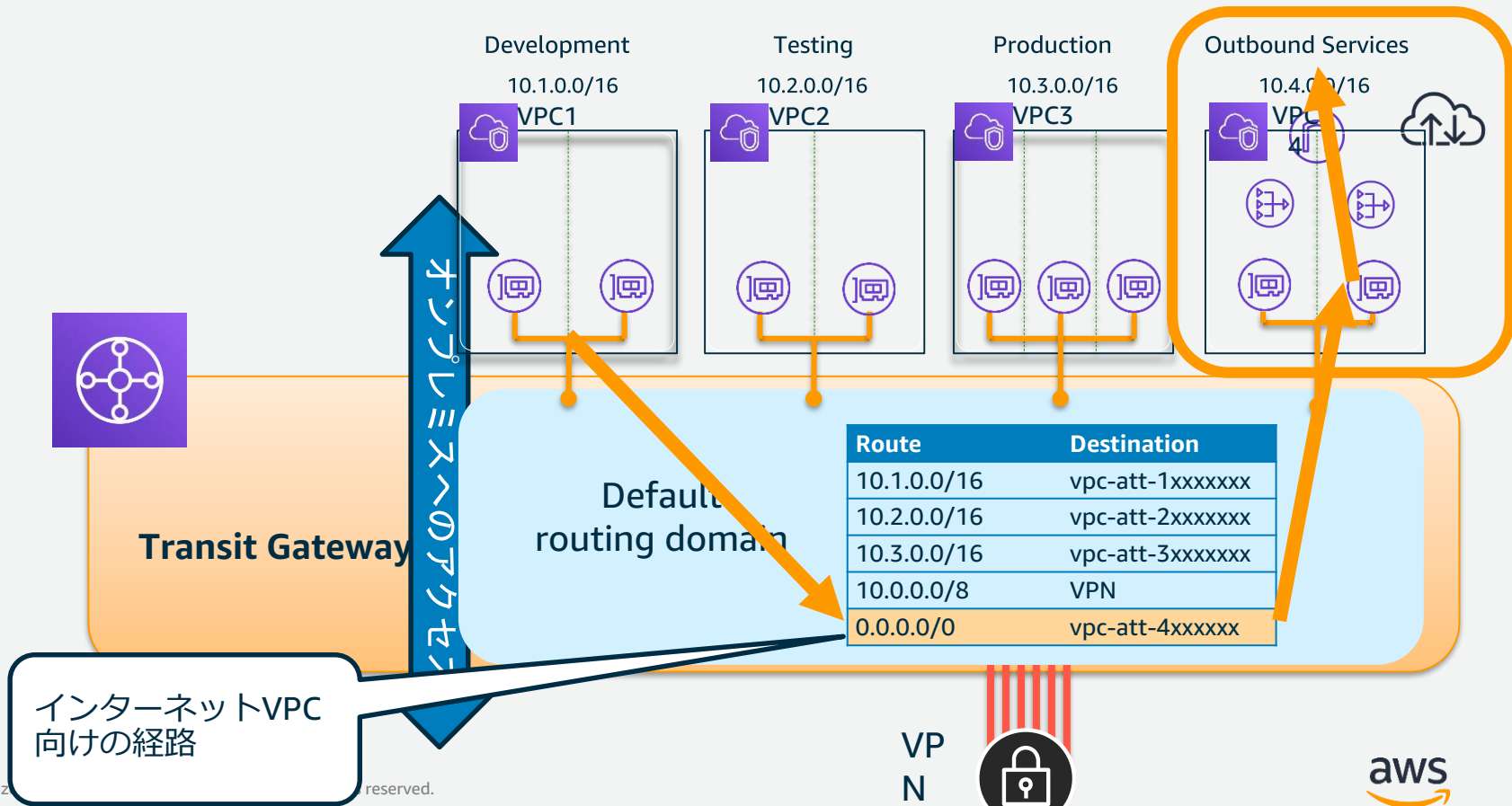
Transit Gatewayをインフラ部隊、VPCを各開発部隊で自由に扱ってほしい場合におススメ

# インターネットに抜ける Outbound Route Domain

# インターネットに抜けるOutbound Route Domain

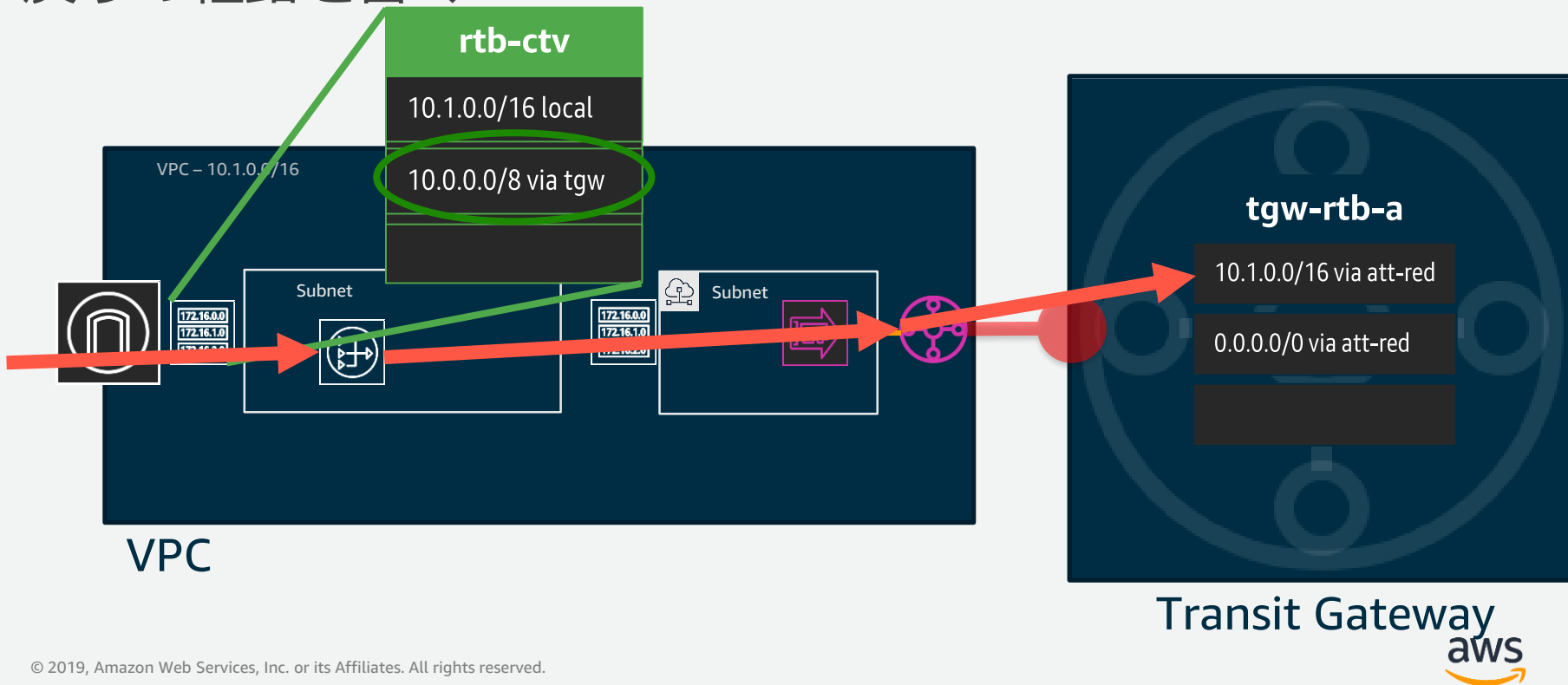


# インターネットに抜けるOutbound Route Domain

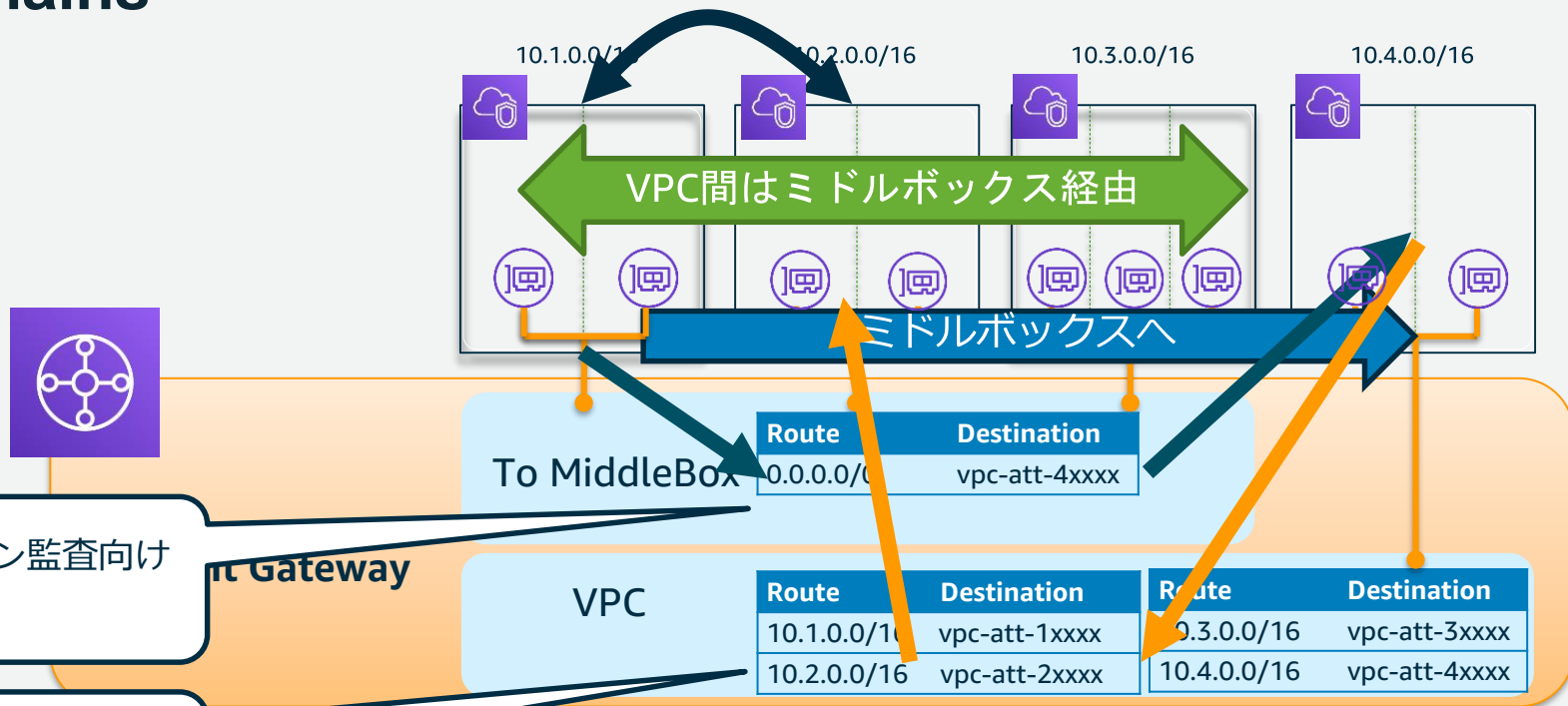


# Outbound Services VPC詳細

戻りの経路を書く

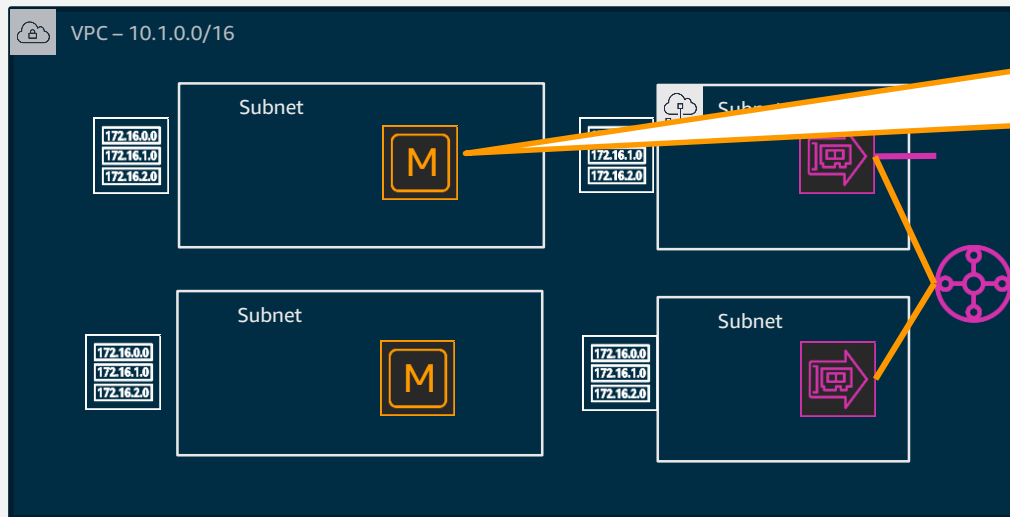


# VPC間のトラフィックをインライン監査するRoute Domains





# インスタンスの冗長



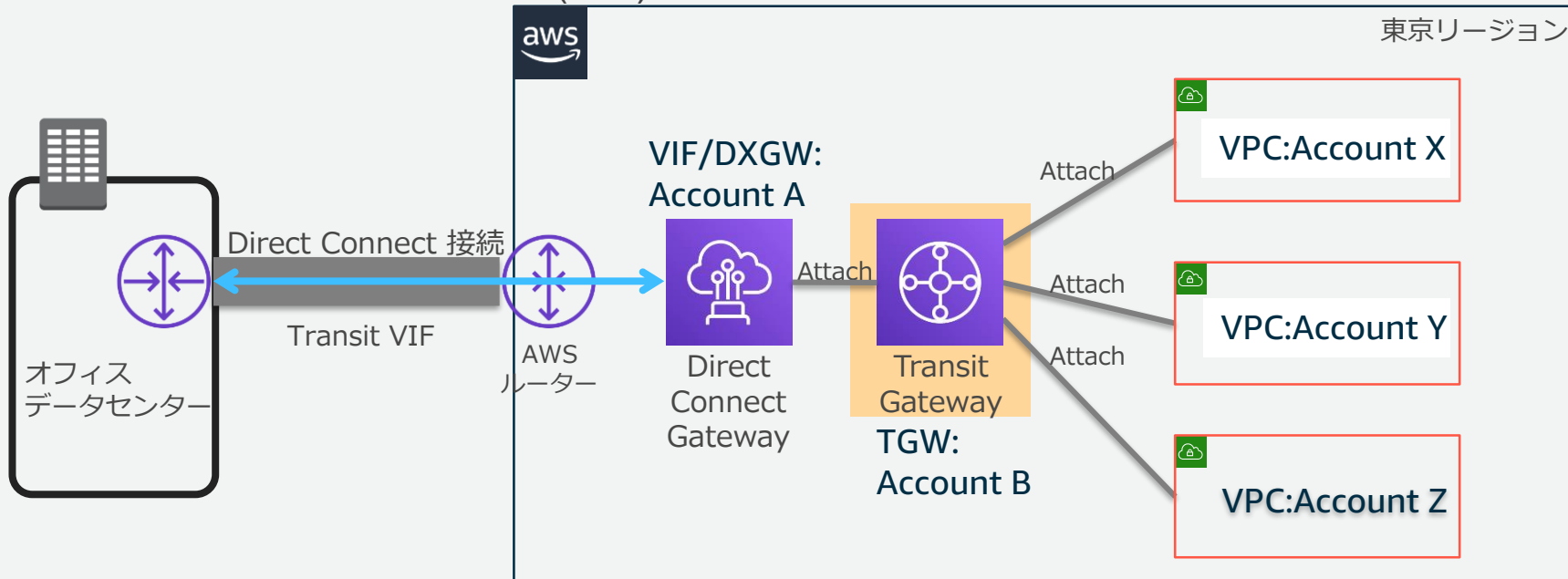
監査を行うインスタンスに対する  
監視が必要

- 監査用のインスタンスを監視する仕組みが必要
- NATインスタンスの時と同様にルーティングテーブルをいじるLambdaなどを作って監視する

# Transit Gateway + Direct Connect/VPN

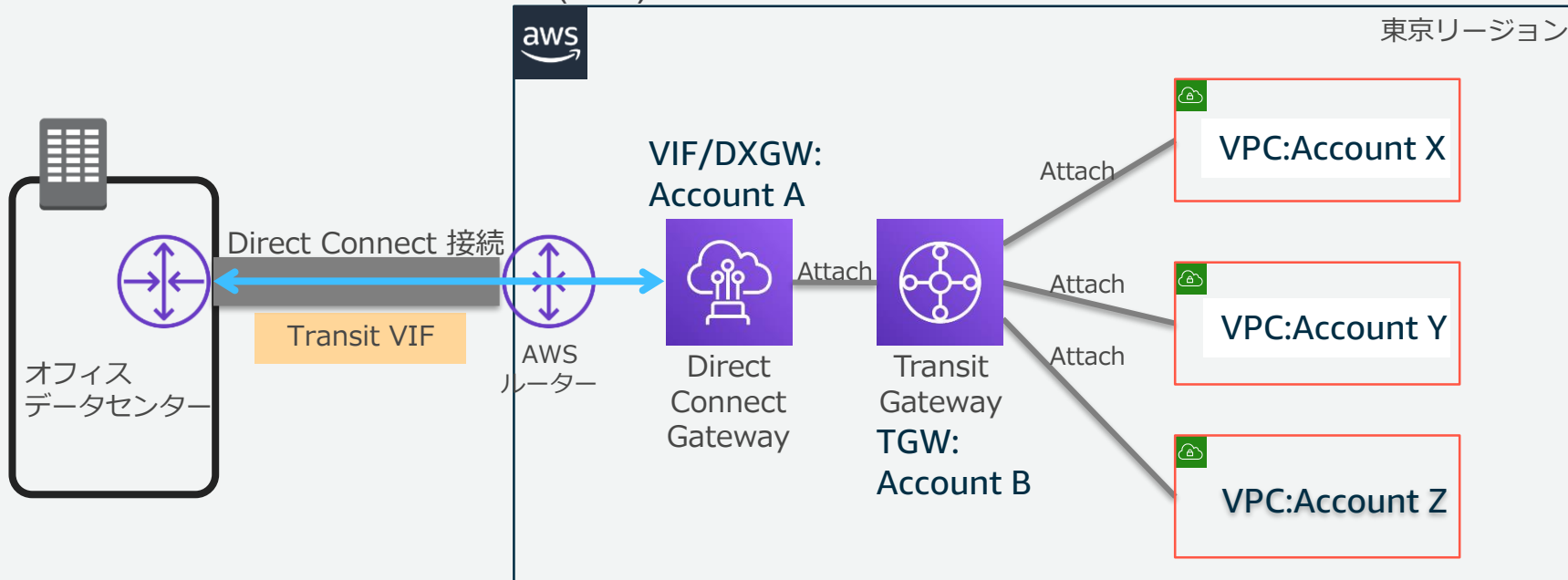
# Transit Gateway 接続概要(1/5)

Direct Connect GatewayとVPCの間に入る構成、VGWは不要  
Transit仮想インターフェイス(VIF)を利用する点に注意



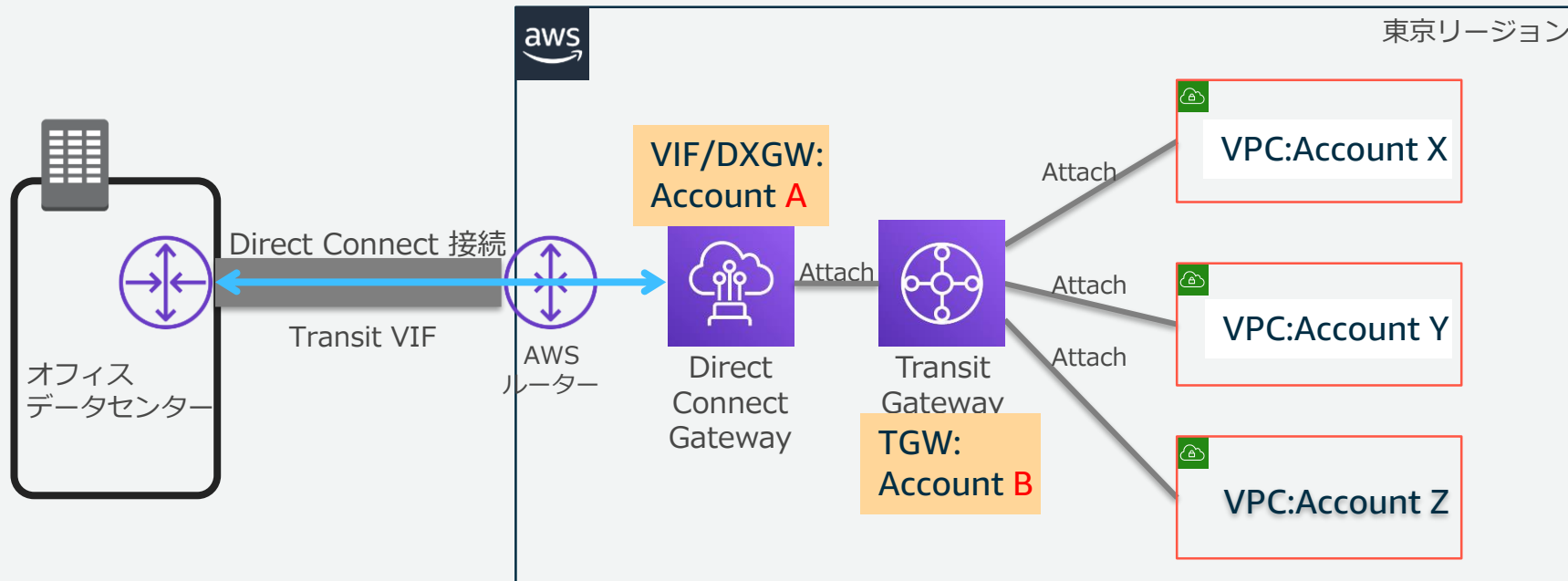
# Transit Gateway 接続概要(2/5)

Direct Connect GatewayとVPCの間に入る構成、VGWは不要  
Transit仮想インターフェイス(VIF)を利用する点に注意



# Transit Gateway 接続概要(3/5)

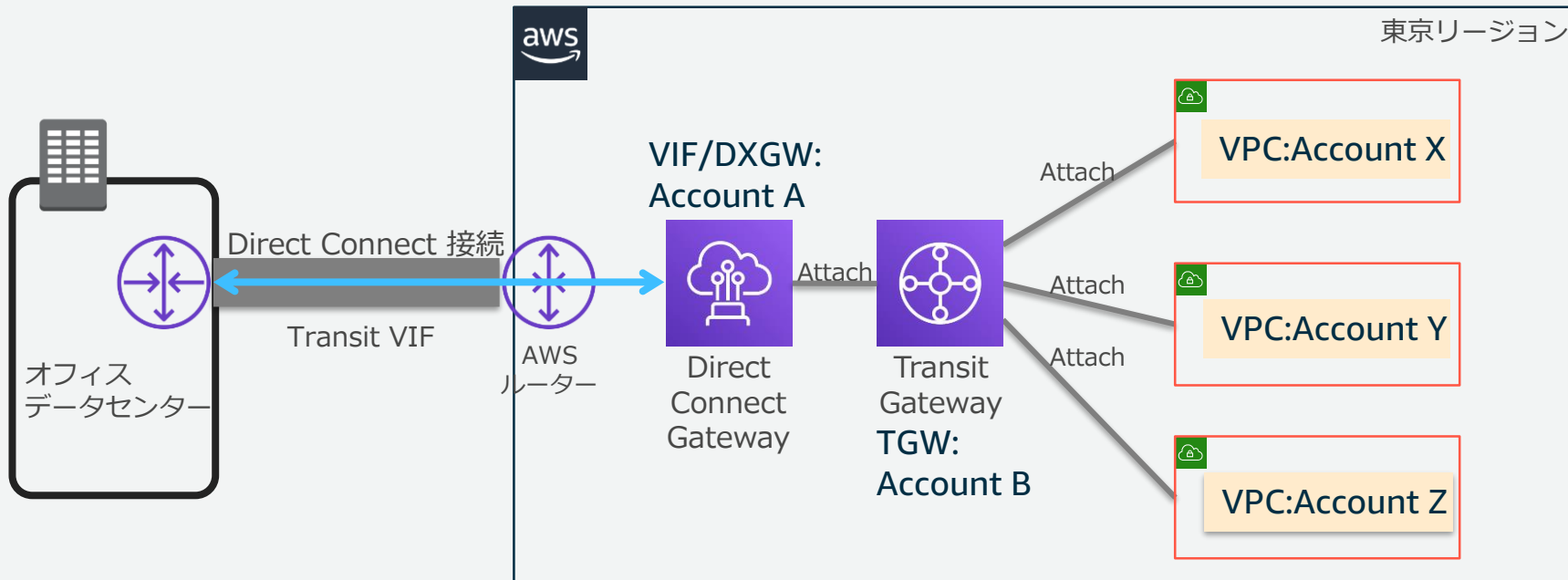
Direct connect GatewayとTransit Gatewayは別アカウントでもアタッチ可能  
(2019/10/4 制限削除※1)



※1 <https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2019/10/aws-direct-connect-aws-direct-connect-announces-the-support-for-granular-cost-allocation-and-removal-of-payer-id-restriction-for-direct-connect-gateway-association/>

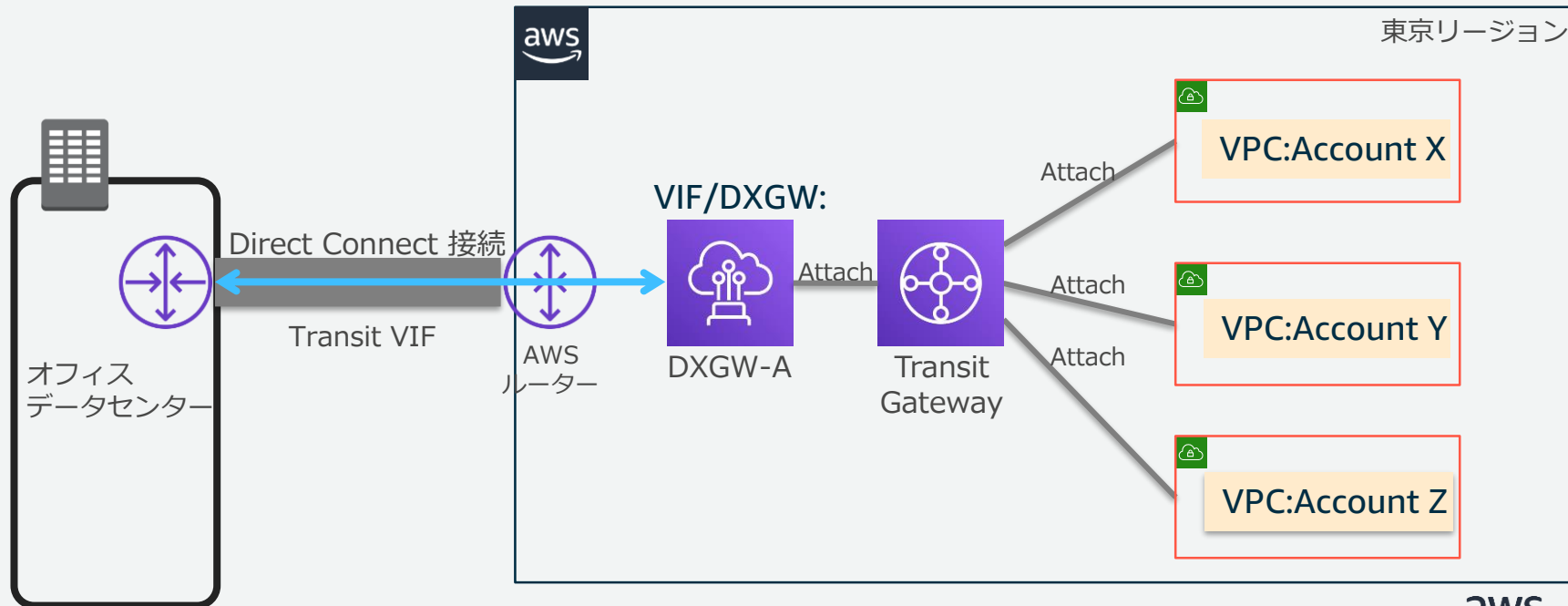
# Transit Gateway 接続概要(4/5)

Transit GatewayにアタッチするVPCは他のAWSアカウントで管理されていてもよい



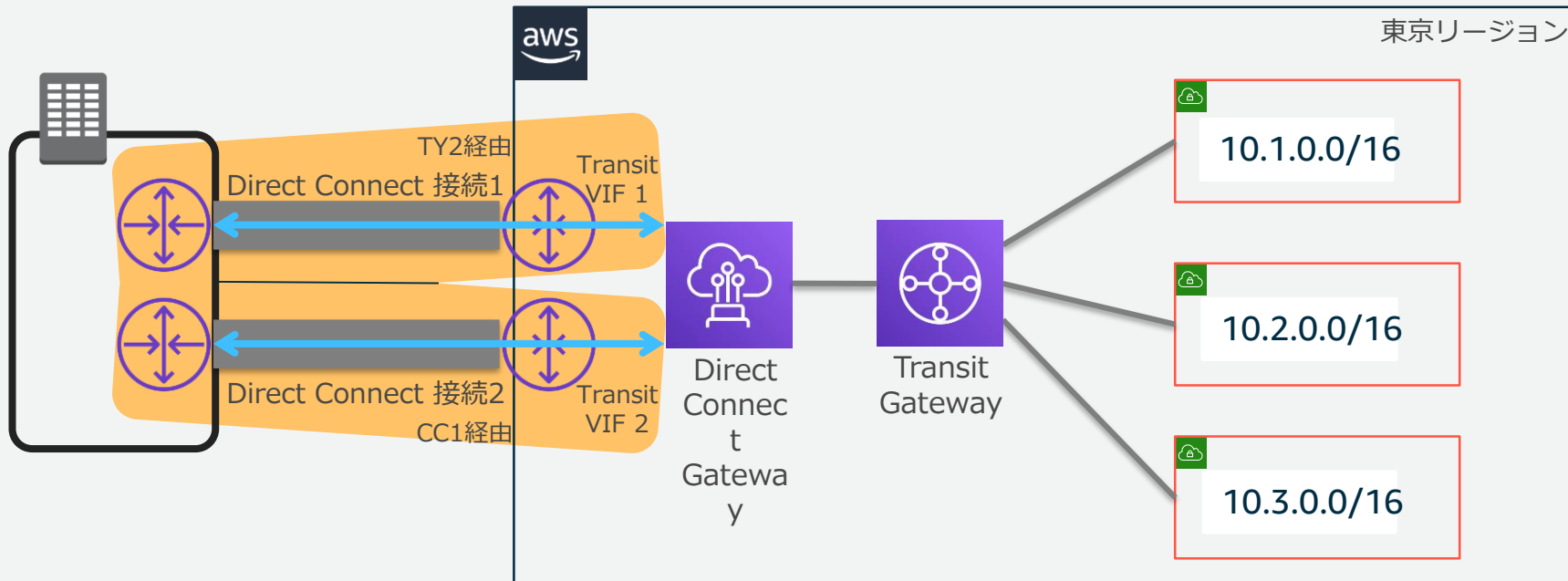
# Transit Gateway 接続概要(5/5)

Transit GatewayにアタッチするVPCは他のAWSアカウントで管理されていてもよい



# Transit Gateway 冗長化: Transit VIF x 2

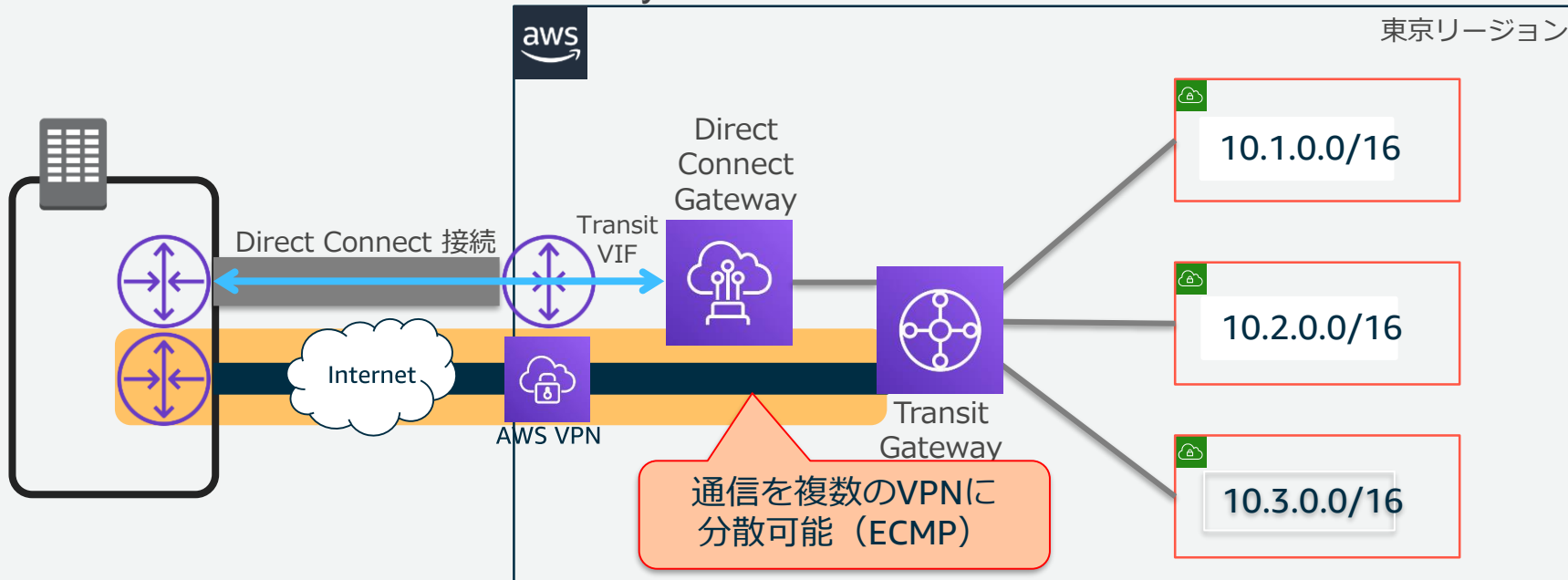
回線冗長化の考え方は、Direct Connect Gatewayと同じ





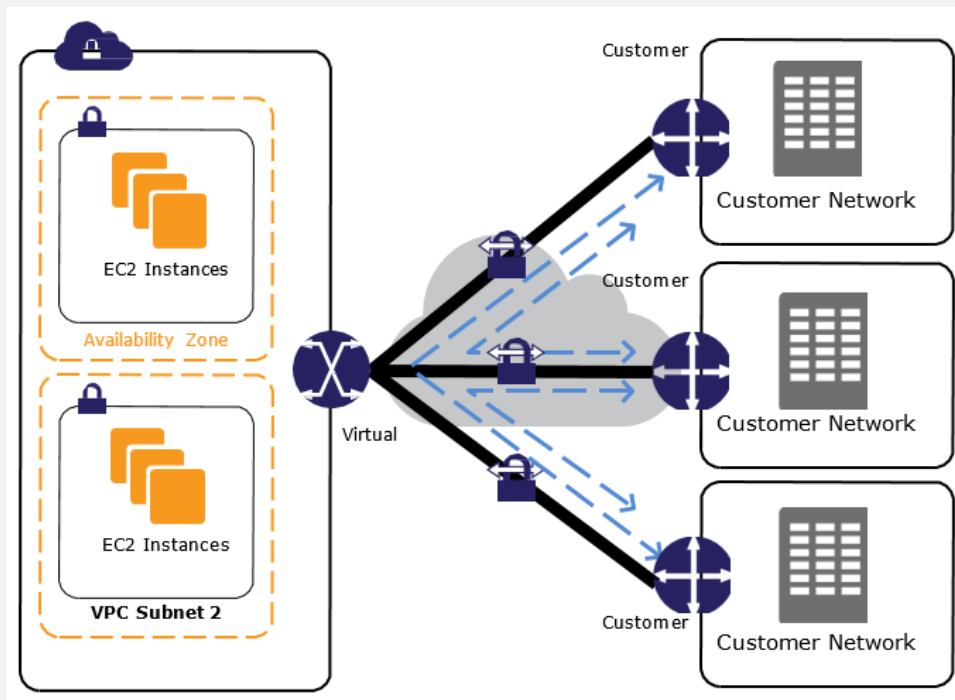
# Transit Gateway 冗長化: AWS VPN

AWS VPNをバックアップとして利用する事も可能  
Site-to-Site VPNでTransit Gatewayへ直接接続



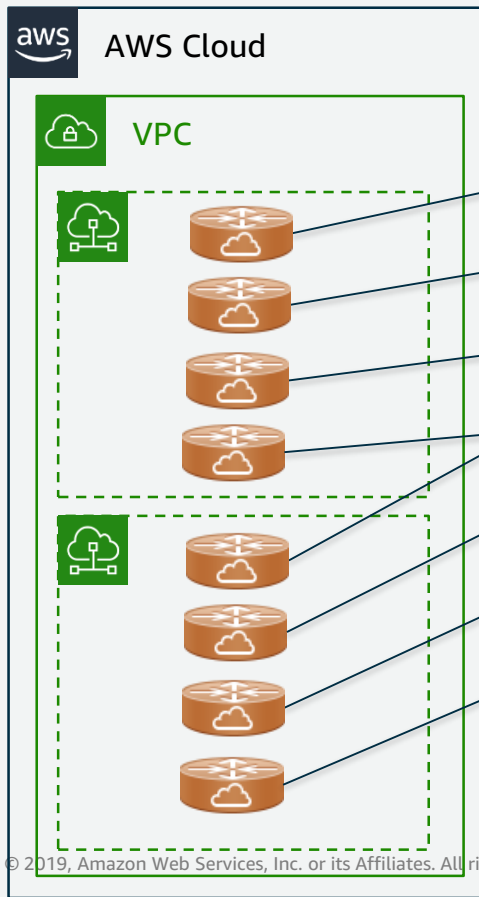
# 多拠点を収容するVPN Hub

# 従来の接続モデル

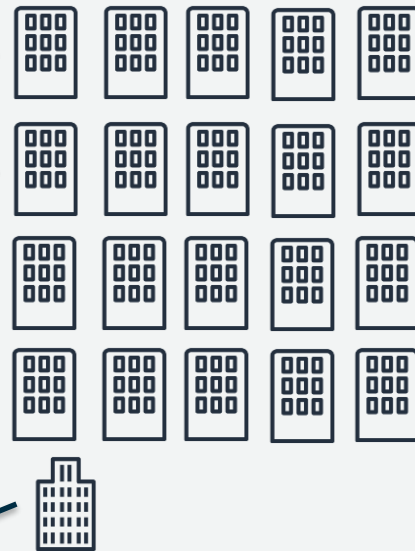


**AWS VPNではデフォルトで10VPN接続まで（上限緩和可能）**

# 従来の接続モデル (2)



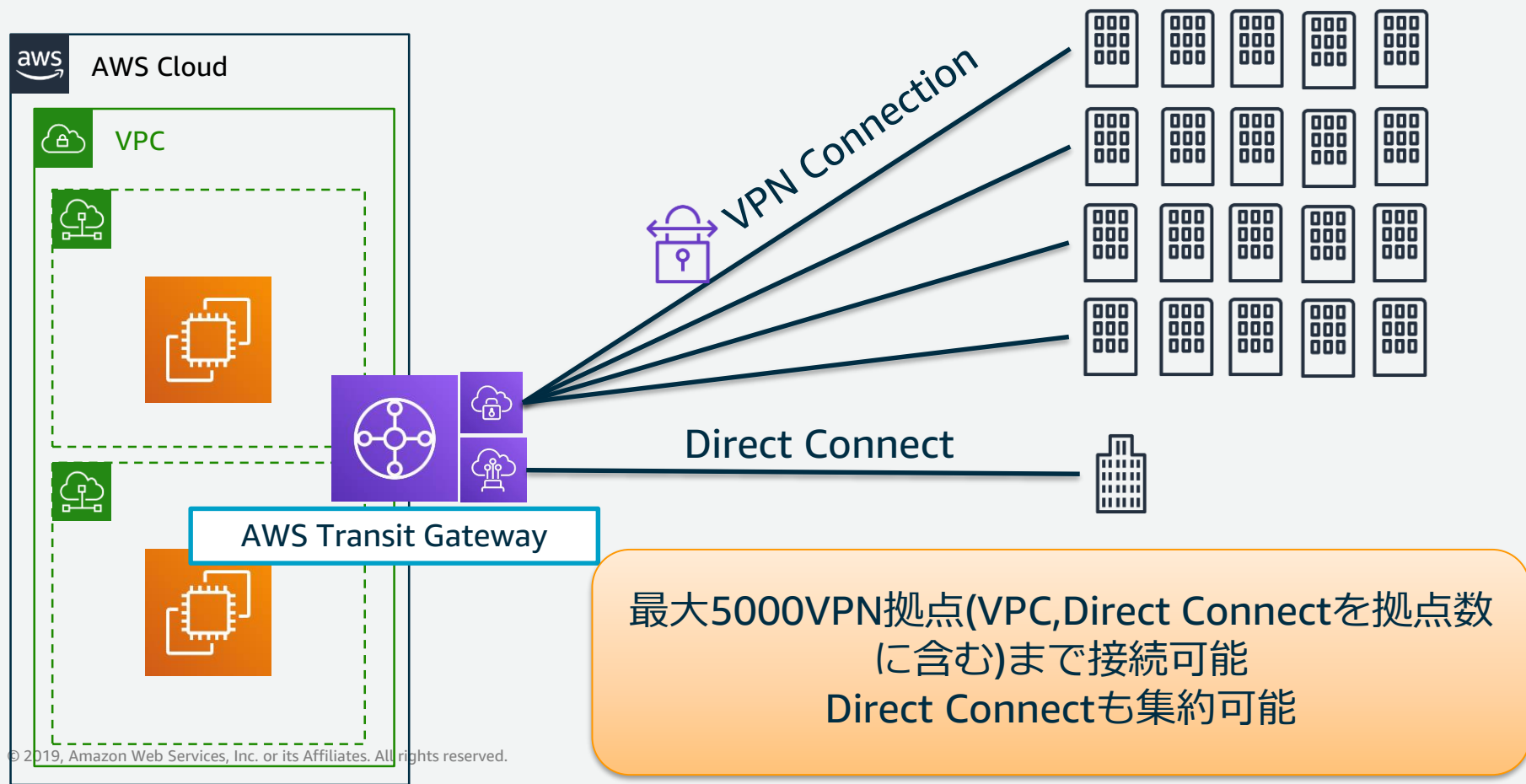
VPN Connection



Direct Connect

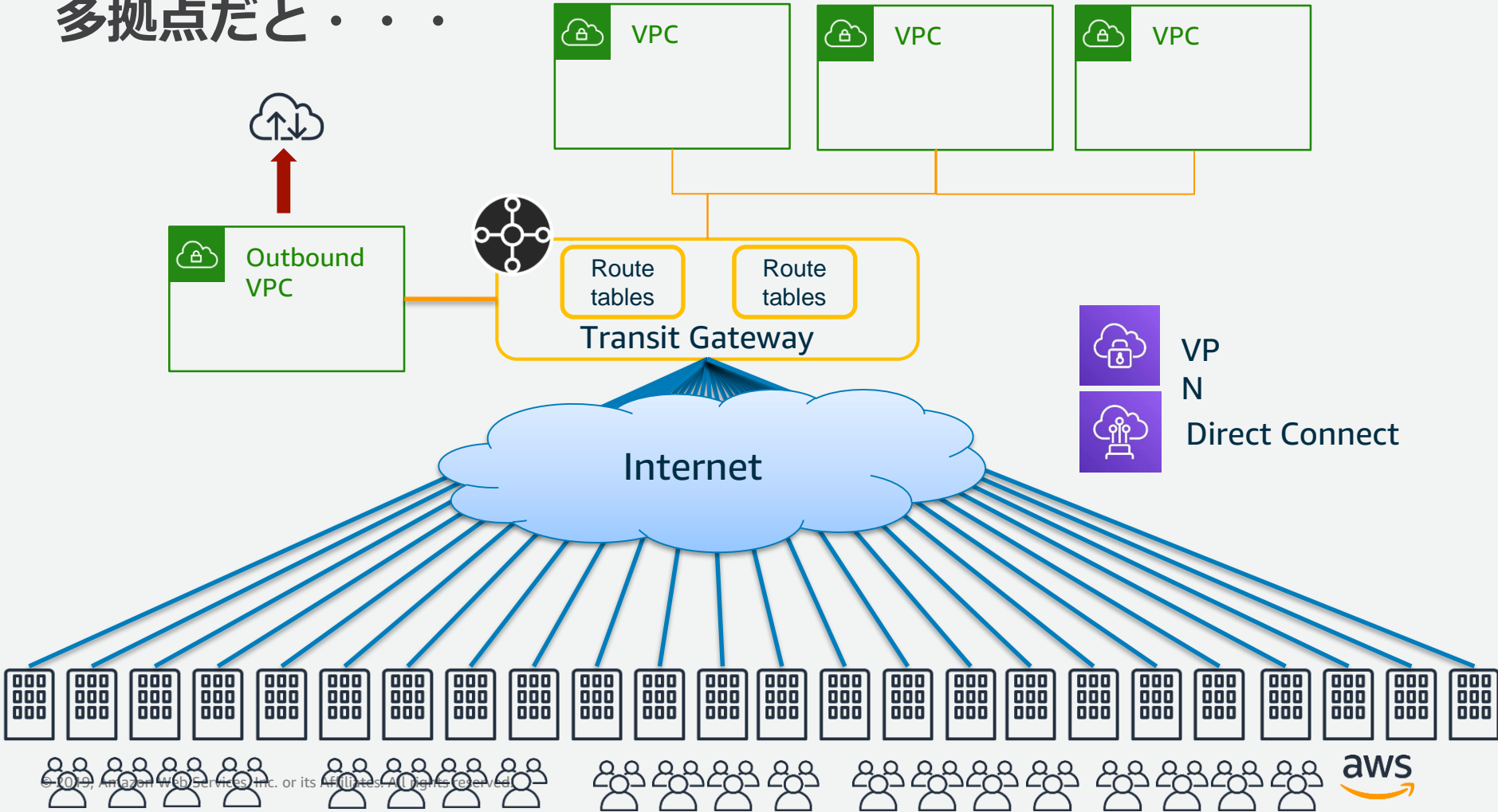
多数のVPNサーバインスタンスと  
独自管理の必要性  
Direct Connectは別管理

# つまり・・・多拠点でのアーキテクチャ

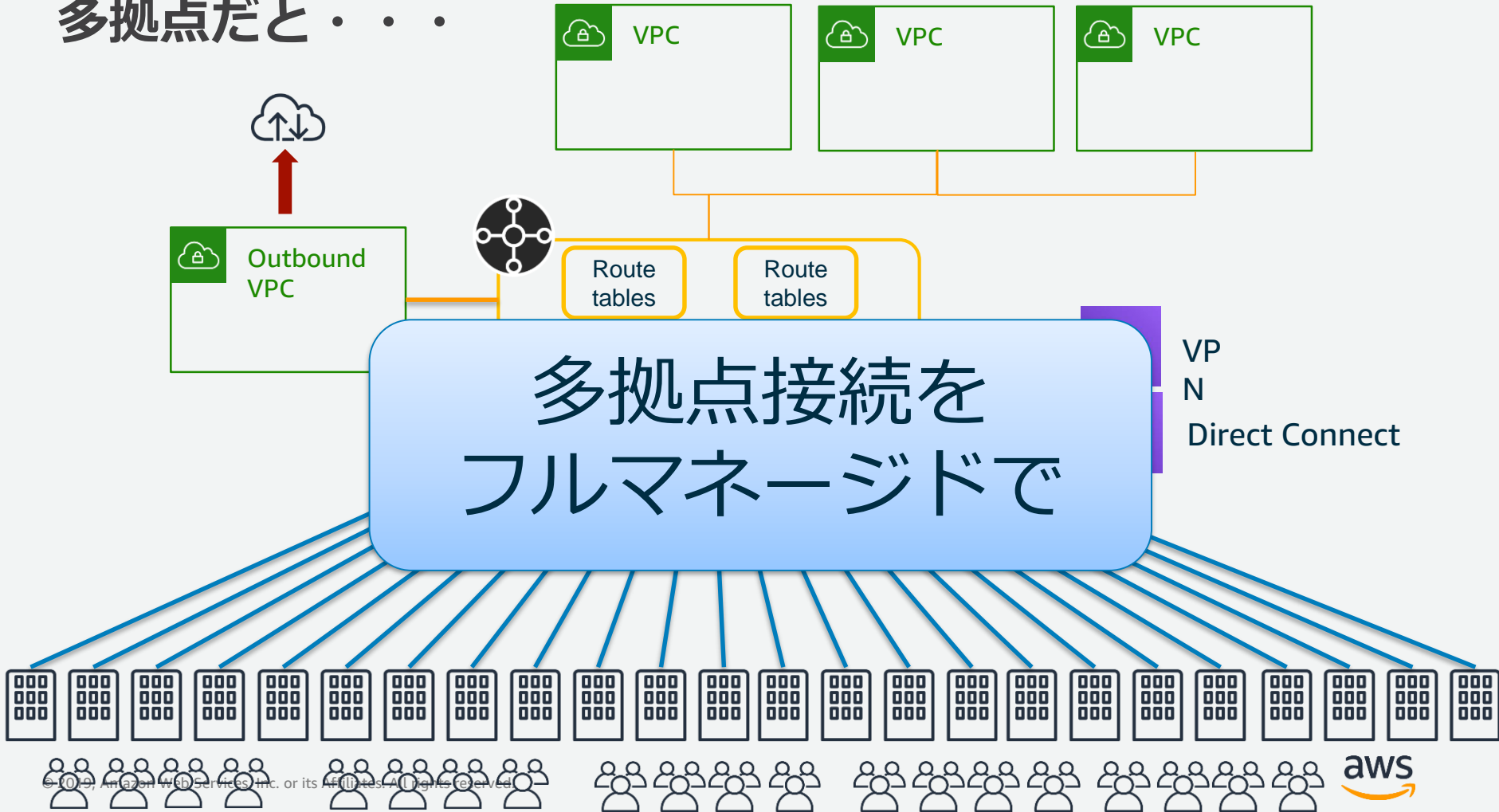


最大5000VPN拠点(VPC,Direct Connectを拠点数  
に含む)まで接続可能  
Direct Connectも集約可能

# 多拠点だと・・・



# 多拠点だと・・・



多拠点接続を  
フルマネージドで

VPN  
Direct Connect

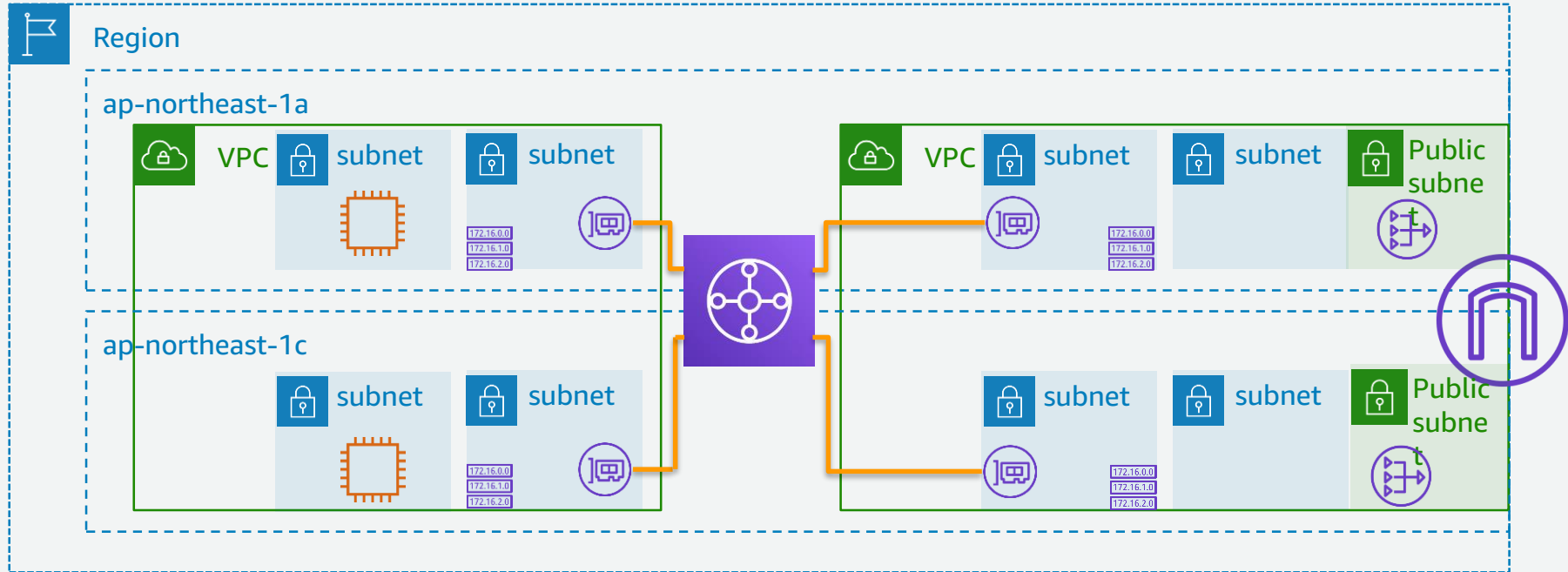
# 本日のアジェンダ

- Transit Gatewayとは
- ユースケース
- 注意する点
- 必ずしもTransit Gatewayを使わなくてもいいケース
- まとめ

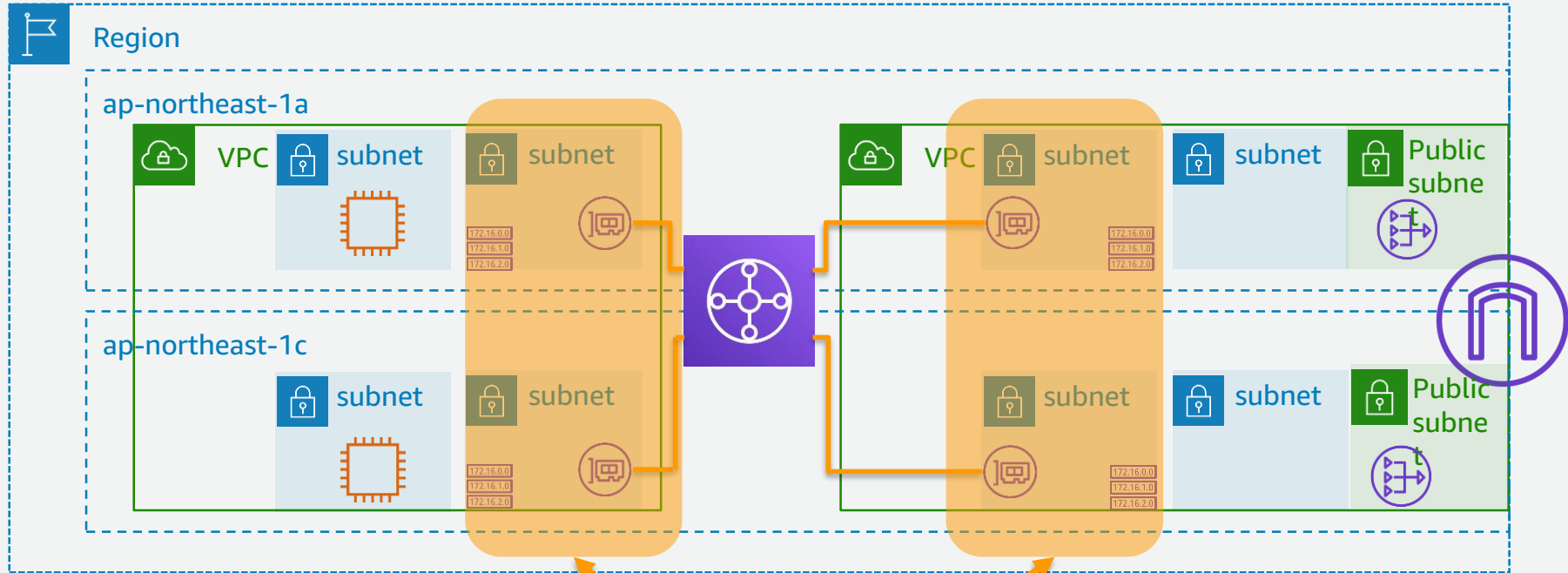


# 注意する点

# TIPS: Transit Gateway アタッチメントの設計



# TIPS: Transit Gateway アタッチメントの設計



TGWのアタッチメントENIに専用サブネットを作るのをオススメ  
メインインスタンス等と同居するとTGWからの経路の影響を受ける

# Transit Gatewayの制限

制限	デフォルト
AWS Transit Gateway アタッチメントの数	5,000
VPN 接続ごとの最大帯域幅*	1.25 Gbps
VPC 接続ごとの最大帯域幅 (バースト)	50 Gbps
アカウントあたりの AWS Transit Gateway の数	5
VPC あたりの AWS Transit Gateway アタッチメントの数	5
ルートの数	10,000

# Direct ConnectのTransit Gatewayに関する制限

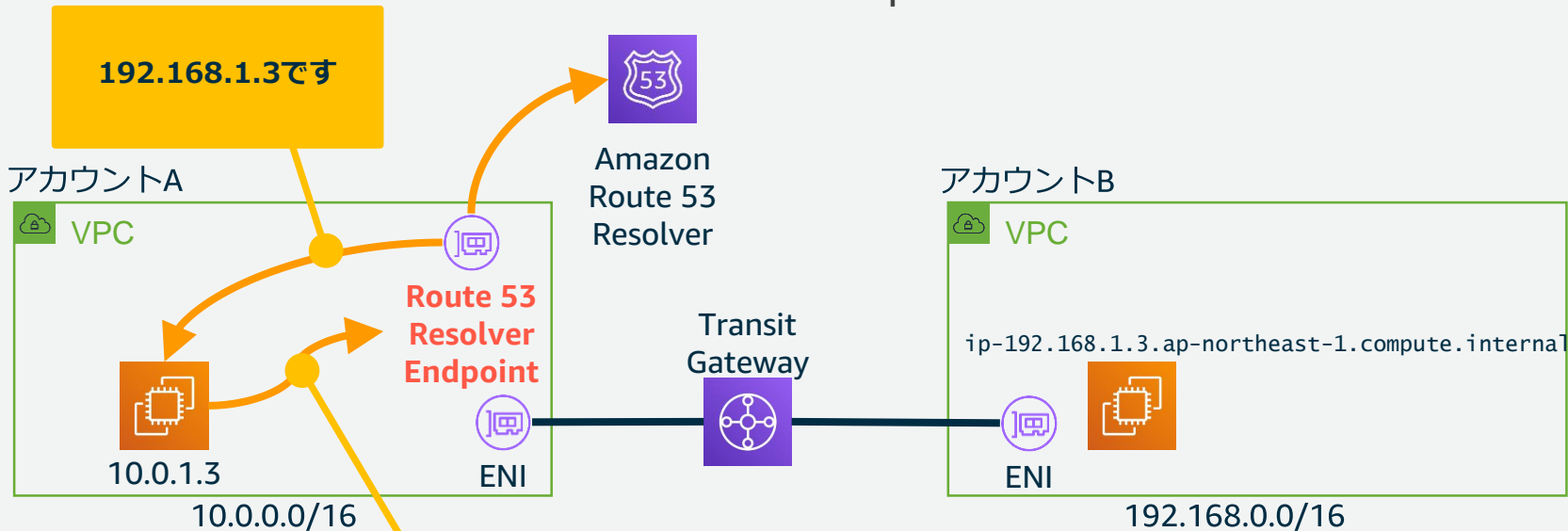
制限	デフォルト
AWS Direct Connect 専用接続あたりのトランジット仮想インターフェイス数	1
AWS Direct Connect ホスト接続あたりのプライベート、パブリック、またはトランジット仮想インターフェイス数 <sup>1</sup>	1
AWS Direct Connect ゲートウェイあたりのトランジットゲートウェイ数	3
AWS からトランジット仮想インターフェイスの AWS への AWS Transit Gateway ごとのプレフィックス数	20

1: キャパシティが 1 Gbps 未満のホスト接続で、トランジット仮想インターフェイスを作成することはできません。(つまり、Sub10Gが必須)

# Transit GatewayにおけるDNSクエリ

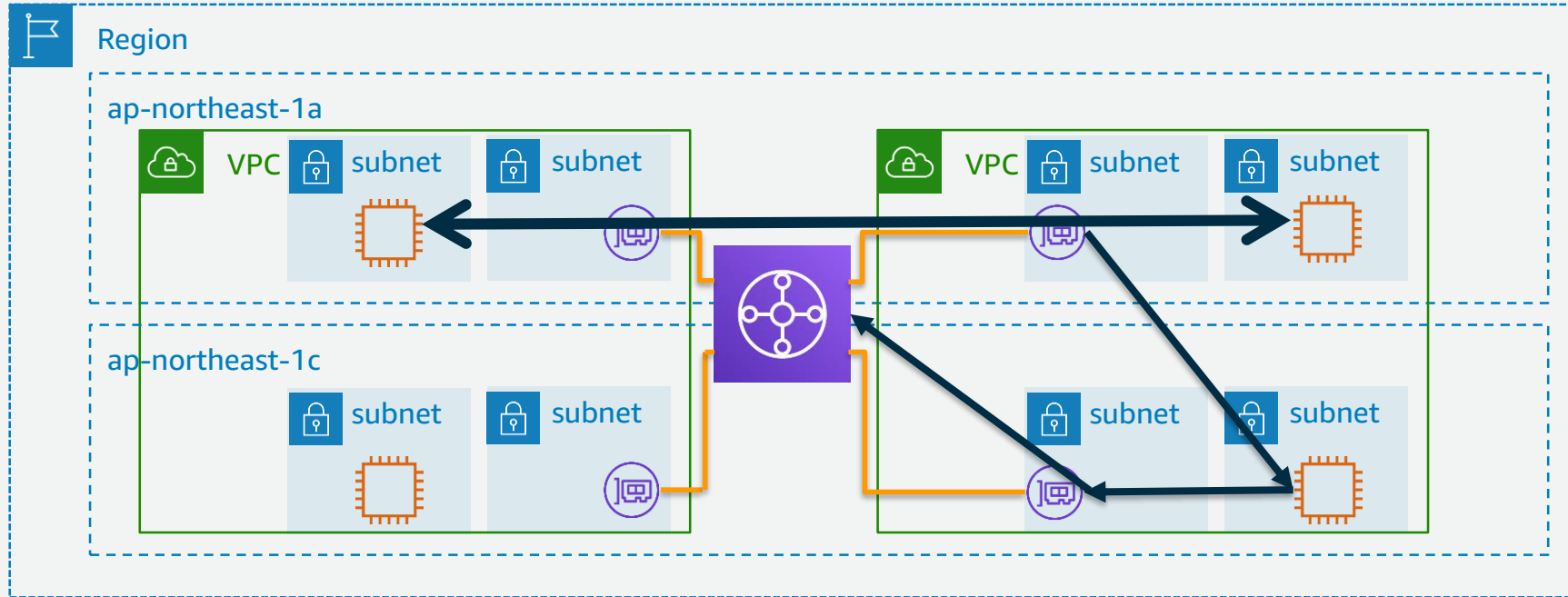
【クロスアカウントやVPN接続の場合】

Route 53 Resolver Endpoint が必要



ip-192.168.1.3.ap-northeast-1.compute.internal  
のIPアドレスは?

# 再掲：Transit GatewayのAZ間通信(VPC内オブジェクト)



VPC間の通信は同一AZのENIを経由して通信が行われる

# わざとTGWのアタッチメントから特定Subnetを抜く

Region

ap-northeast-1a

ap-northeast-1c

VPC

subnet

subnet

subnet

subnet

subnet

subnet

subnet

VPC ID vpc-0f6c8f81ffe91372a

Subnet IDs subnet-02b8c0c853ae86a92 ⓘ

Availability Zone	Subnet ID
<input checked="" type="checkbox"/> ap-northeast-2a	subnet-02b8c0c853ae86a92 (TGW-AP-NE2-100-pub-2a)
<input type="checkbox"/> ap-northeast-2b	No subnet available
<input type="checkbox"/> ap-northeast-2c	subnet-06b09bedcf9be5633 (TGW-AP-NE2-100-pri-2c)



# Pingを飛ばしてみる

Region

ap-northeast-1a

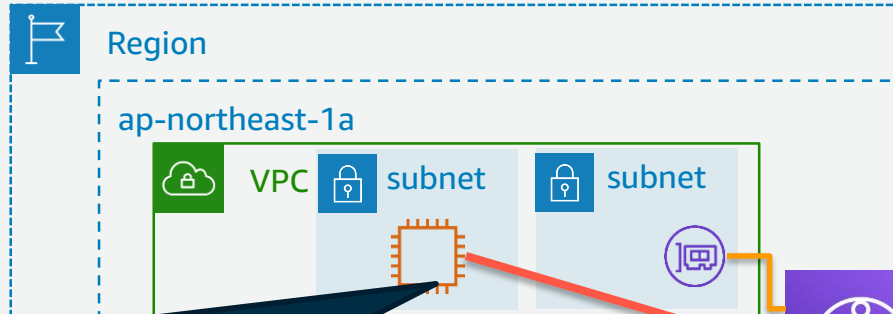
ap-northeast-1c

VPC ID vpc-0f6c8f81ffe91372a

Subnet IDs subnet-02b8c0c853ae86a92 ⓘ

Availability Zone	Subnet ID
<input checked="" type="checkbox"/> ap-northeast-2a	subnet-02b8c0c853ae86a92 (TGW-AP-NE2-100-pub-2a)
<input type="checkbox"/> ap-northeast-2b	No subnet available
<input type="checkbox"/> ap-northeast-2c	subnet-06b09bedcf9be5633 (TGW-AP-NE2-100-pri-2c)

# Ping...



```
ec2-13-124-233-18.ap-northeast-2.compute.amazonaws.com - ec2-user@ip-10-0-0-165:~$  
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)  
  
_ | _ | _ | )  
_ | ( _ | / ) Amazon Linux 2 AMI  
_ | ¥ _ | _ |  
  
https://aws.amazon.com/amazon-linux-2/  
8 package(s) needed for security, out of 15 available  
Run "sudo yum update" to apply all updates.  
[ec2-user@ip-10-0-0-165 ~]$ ping 10.100.2.207  
PING 10.100.2.207 (10.100.2.207) 56(84) bytes of data.  
^C  
--- 10.100.2.207 ping statistics ---  
20 packets transmitted, 0 received, 100% packet loss, time 19441ms  
  
[ec2-user@ip-10-0-0-165 ~]$ ping 10.100.2.207  
PING 10.100.2.207 (10.100.2.207) 56(84) bytes of data.  
^C  
--- 10.100.2.207 ping statistics ---  
72 packets transmitted, 0 received, 100% packet loss, time 72703ms
```

```
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)  
[ec2-user@ip-10-100-2-207 ~]$ sudo tcpdump -ni eth0 icmp  
tcpdump: verbose output suppressed, use -v or -vv for full protocol decode  
listening on eth0, link-type EN10MB (Ethernet), capture size 262144 bytes  
05:54:40.940978 IP 10.0.0.165 > 10.100.2.207: ICMP echo request, id 3507, seq 1,  
length 64  
05:54:40.941016 IP 10.100.2.207 > 10.0.0.165: ICMP echo reply, id 3507, seq 1,  
length 64  
05:54:41.964445 IP 10.0.0.165 > 10.100.2.207: ICMP echo request, id 3507, seq 2,  
length 64  
05:54:41.964468 IP 10.100.2.207 > 10.0.0.165: ICMP echo reply, id 3507, seq 2,  
length 64  
05:54:42.988385 IP 10.0.0.165 > 10.100.2.207: ICMP echo request, id 3507, seq 3,  
length 64  
05:54:42.988420 IP 10.100.2.207 > 10.0.0.165: ICMP echo reply, id 3507, seq 3,  
length 64  
05:54:44.012487 IP 10.0.0.165 > 10.100.2.207: ICMP echo request, id 3507, seq 4,  
length 64  
05:54:44.012513 IP 10.100.2.207 > 10.0.0.165: ICMP echo reply, id 3507, seq 4,  
length 64  
05:54:45.036418 IP 10.0.0.165 > 10.100.2.207: ICMP echo request, id 3507, seq 5,  
length 64  
05:54:45.036441 IP 10.100.2.207 > 10.0.0.165: ICMP echo reply, id 3507, seq 5,  
length 64  
05:54:46.060442 IP 10.0.0.165 > 10.100.2.207: ICMP echo request, id 3507, seq 6,
```

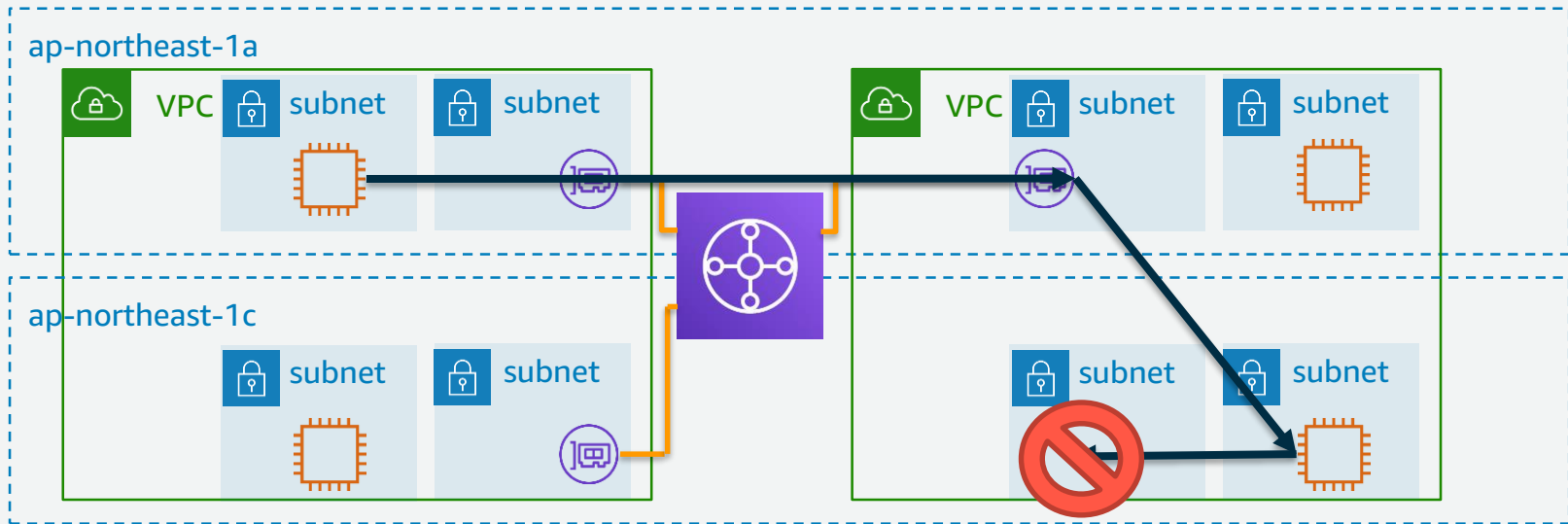
vpc-0f6c8f81ffe91372a

subnet-02b8c0c853ae86a92 ⓘ

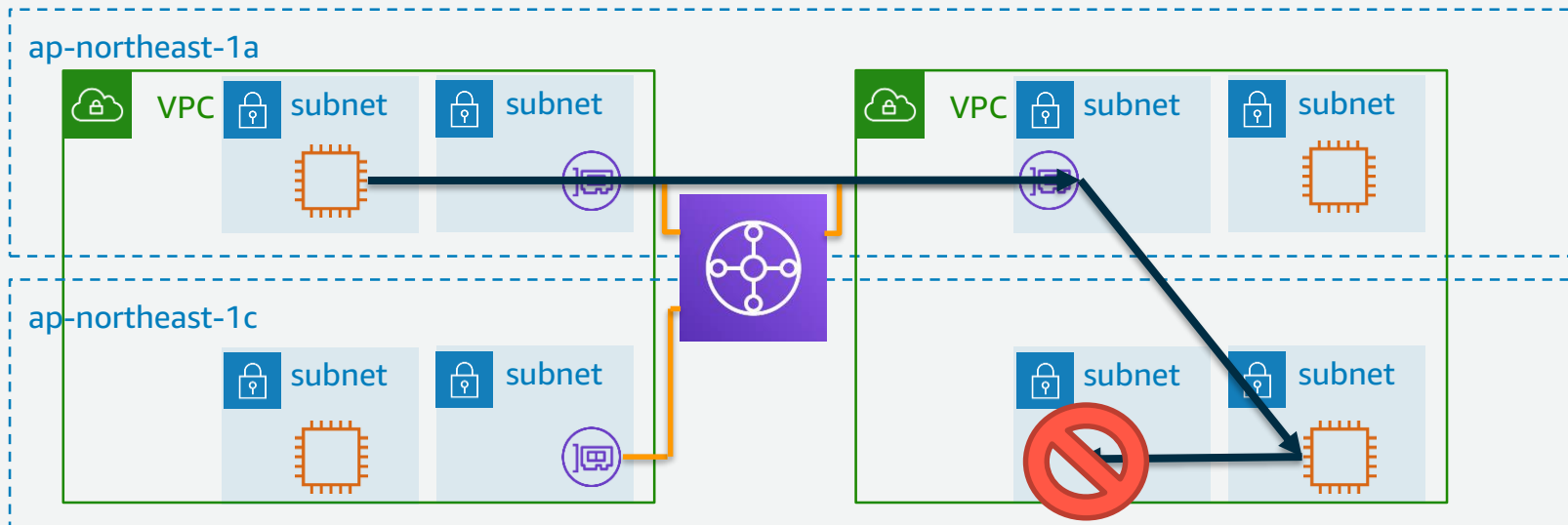
Availability Zone	Subnet ID
<input checked="" type="checkbox"/> ap-northeast-2a	subnet-02b8c0c853ae86a92 (TGW-AP-NE2-100-pub-2a)
<input type="checkbox"/> ap-northeast-2b	No subnet available
<input type="checkbox"/> ap-northeast-2c	subnet-06b09bedcf9be5633 (TGW-AP-NE2-100-pri-2c)



# パケットが通らないのは、



# パケットが通らないのは、



戻りのENIが存在しないのでパケットが戻れない> 不通になる  
アタッチメント時、すべてのAZにTGWのENIをつけること (必須)

[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/vpc/latest/tgw/tgw-vpc-attachments.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/vpc/latest/tgw/tgw-vpc-attachments.html)

# 本日のアジェンダ

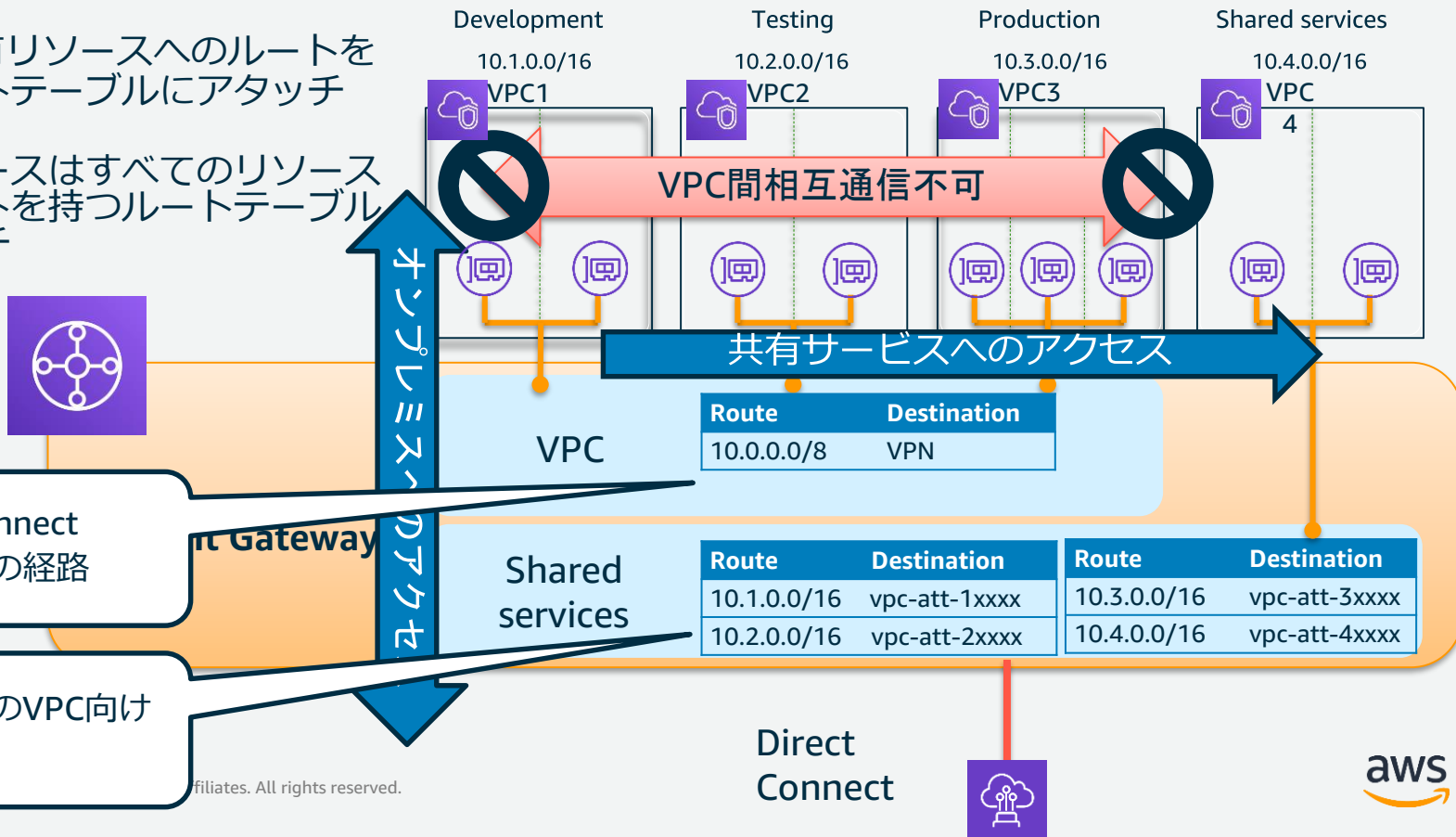
- Transit Gatewayとは
- ユースケース
- 注意する点
- **必ずしもTransit Gatewayを使わなくてもいいケース**
- まとめ

**必ずしもTransit Gatewayを使わなくてもいいケース**

# Transit Gatewayで通信制限する Route Domain(Direct Connect)

VPCは共有リソースへのルートを持つルートテーブルにアタッチ

共有リソースはすべてのリソースへのルートを持つルートテーブルにアタッチ



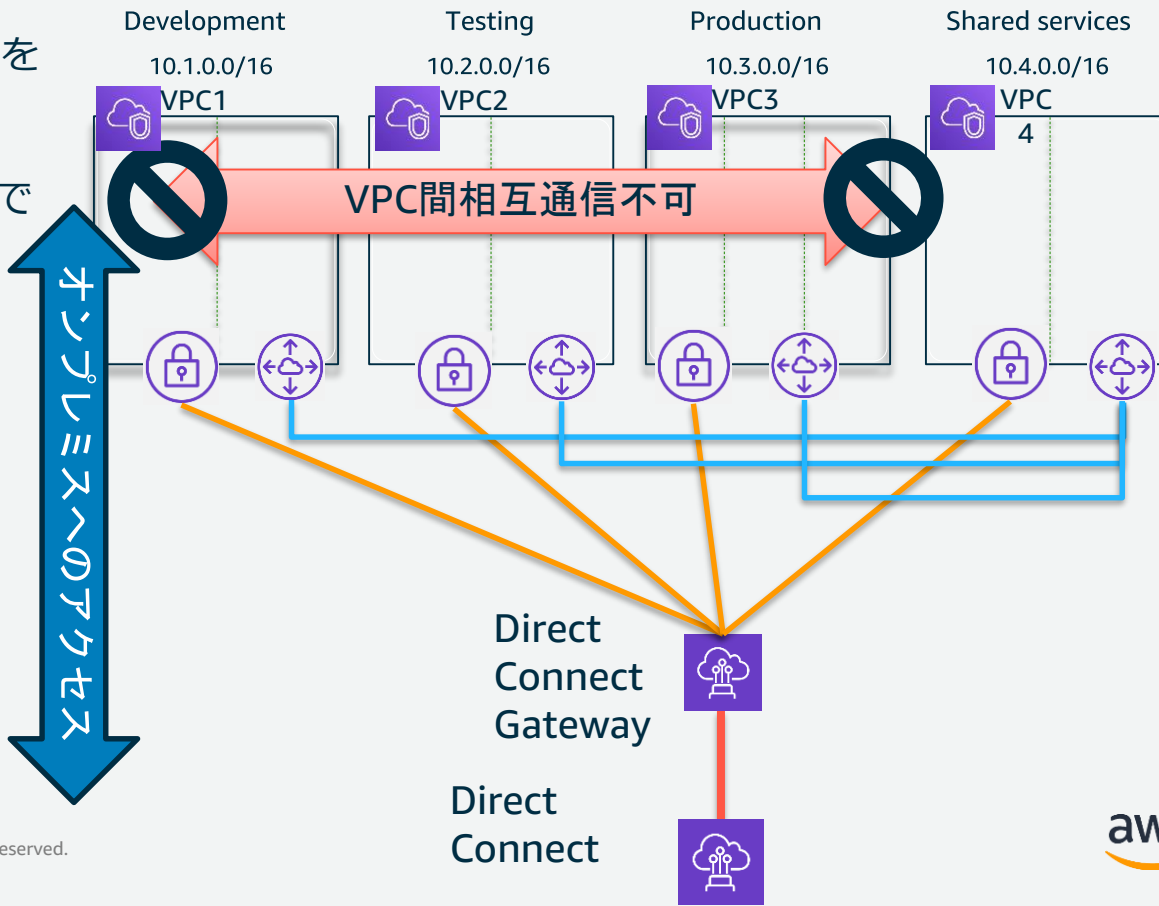
Direct Connect 向けのみの経路

それぞれのVPC向けの経路

# VPC Peering/DXGWで通信制限する Route Domain(Direct Connect)

VPCは共有リソースへのルートを持つVPC Peeringを利用

オンプレミス - VPC間はDXGWで接続 (VPC間は通信できない)

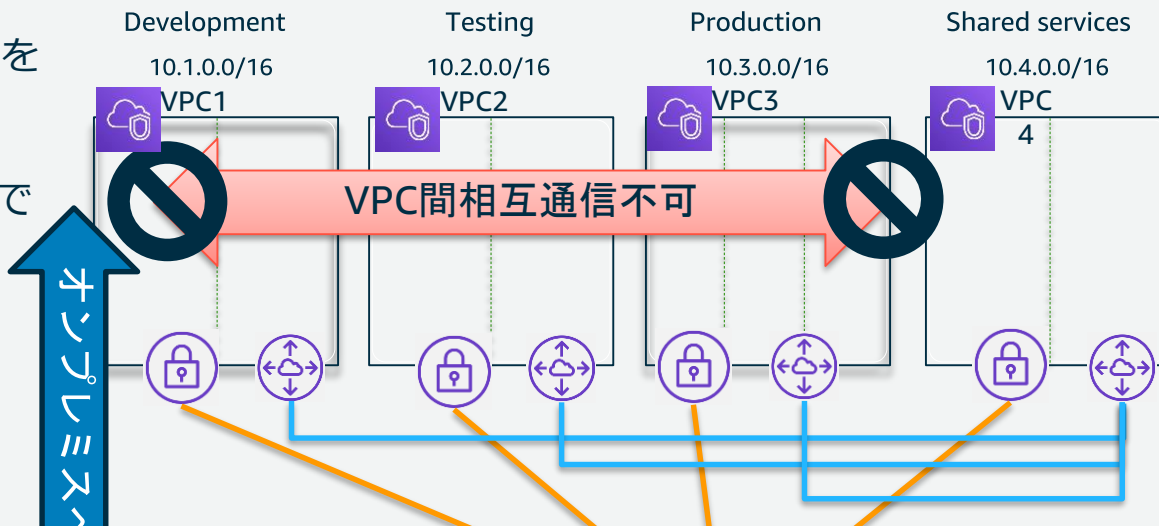




# VPC Peering/DXGWで通信制限する Route Domain(Direct Connect)

VPCは共有リソースへのルートを持つVPC Peeringを利用

オンプレミス - VPC間はDXGWで接続 (VPC間は通信できない)



Transit Gatewayを使わずともVPC PeeringとDXGWで通信制限は可能  
TGWに比べてコスト削減になる



# [参考] Transit Gatewayの料金について

英語の表記となりますが、以下にて詳細を説明しております。

## Transit Gateway Pricing Points

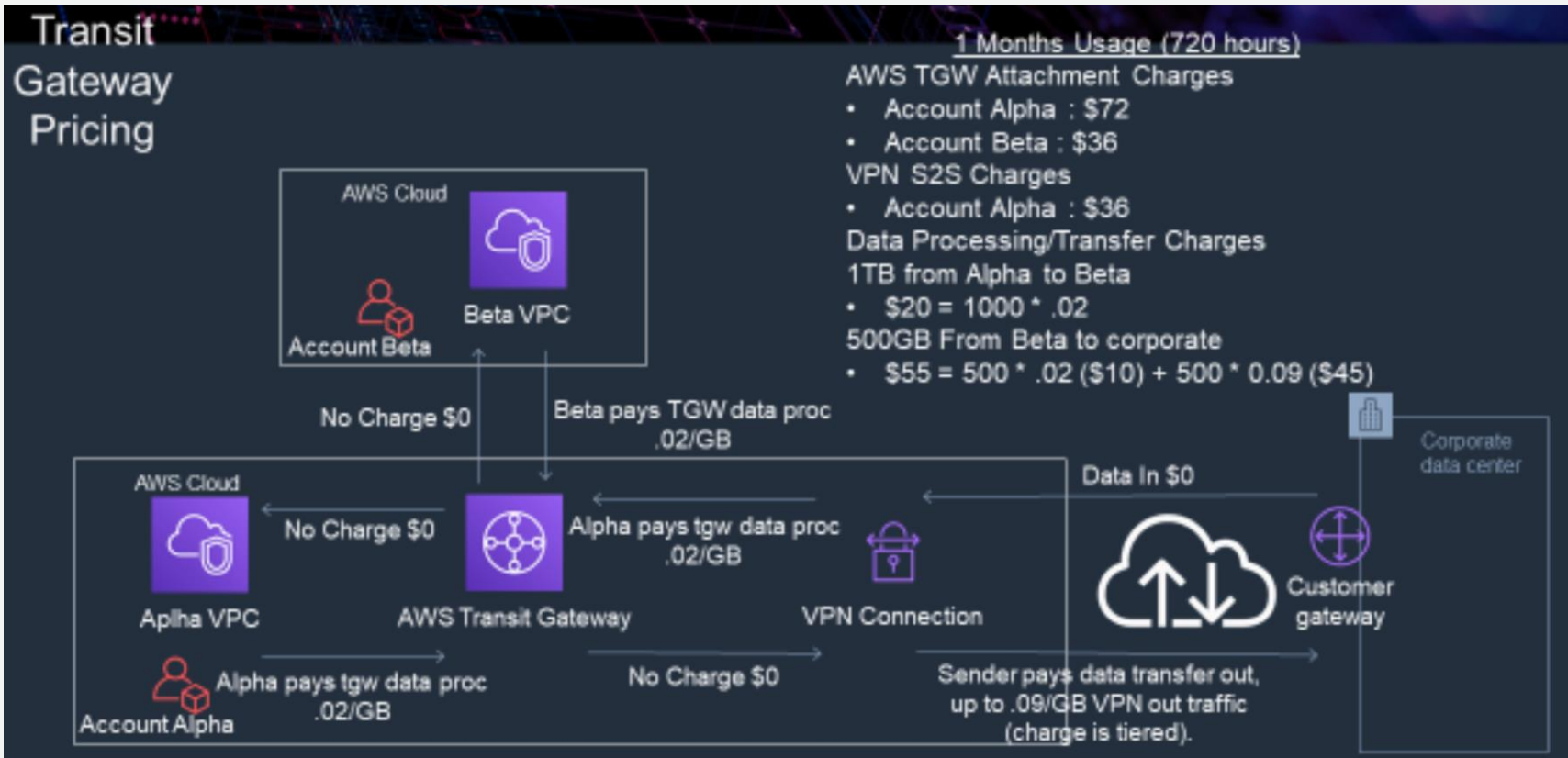
### Hourly Attachment Charges

1. Owner (account) of attachment the hourly TGW attachment charge, whether VPC or VPN or soon DXG.

### Data Charges

1. Owner (account) of attachment pays the TGW data processing charge for data sent to the TGW.
  1. The receiver of the traffic doesn't pay TGW data processing (no double charge).
  2. Data "sent" to TGW could be data coming in from on premise, i.e. over VPN. There is no EC2 data in (data in is still free), but data "sent" to TGW incurs data processing charge.
2. DATA OUT – Sender (VPC) of data pays the VPN data out charges, not the owner of the VPN attachment.
3. Cross AZ – If sender and receiver instances are in the same AZ, no charge. If receiving EC2 is in different AZ, receiving pays nominal cross AZ charge (.01/GB).

# [参考] Transit Gatewayの料金について(続き)



# 本日のアジェンダ

- Transit Gatewayとは
- ユースケース
- 注意する点
- 必ずしもTransit Gatewayを使わなくてもいいケース
- まとめ

# まとめ

# まとめ

- Transit Gatewayに関する深い理解
- Transit Gatewayのユースケースを理解する
- Transit Gatewayの注意点を理解する
- 必ずしもTransit Gatewayが必要ではないケースがある

# Q&A

お答えできなかったご質問については

AWS Japan Blog 「<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/>」にて

後日掲載します。

# AWS の日本語資料の場所「AWS 資料」で検索



The screenshot shows the AWS Japanese website header with the logo, navigation links for '日本語', 'アカウント', and 'サポート', and a 'サインイン' button. The main content area features the title 'AWS クラウドサービス活用資料集トップ' and a paragraph of introductory text. Below the text are four buttons: 'AWS Webinar お申込', 'AWS 初心者向け', '業種・ソリューション別資料', and 'サービス別資料'.

aws

日本語 日本担当チームへお問い合わせ サポート アカウント

コンソールにサインイン

製品 ソリューション 料金 ドキュメント 学習 パートナー AWS Marketplace その他

## AWS クラウドサービス活用資料集トップ

アマゾン ウェブ サービス (AWS) は安全なクラウドサービスプラットフォームで、ビジネスのスケールと成長をサポートする処理能力、データベースストレージ、およびその他多種多様な機能を提供します。お客様は必要なサービスを選択し、必要な分だけご利用いただけます。それらを活用するために役立つ日本語資料、動画コンテンツを多数ご提供しております。(本サイトは主に、AWS Webinar で使用した資料およびオンデマンドセミナー情報を掲載しています。)

AWS Webinar お申込 »

AWS 初心者向け »

業種・ソリューション別資料 »

サービス別資料 »

<https://amzn.to/JPArchive>



# AWS Well-Architected 個別技術相談会

毎週“W-A個別技術相談会”を実施中

- AWSのソリューションアーキテクト(SA)に  
対策などを相談することも可能

- **申込みはイベント告知サイトから**

(<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/>)

AWS イベント

で[検索]



# ご視聴ありがとうございました

AWS 公式 Webinar

<https://amzn.to/JPWebinar>



過去資料

<https://amzn.to/JPArchive>

